

磁界エネルギー治療

～がん治療　がんは完治します

統合失調症・難病治療も可能

滝　沢　輝

目次

第1章 磁界エネルギー治療

磁界エネルギー治療とは
磁界エネルギー治療が必要な理由
磁界エネルギー（徳）は体の原型を構成
医学で治療できない病気が多い理由
磁界エネルギー不足が病気の根本原因
磁界エネルギーによる業念の消去

第2章 磁界エネルギー治療詳細説明

チャクラ
天界はヨガの悟りの世界
磁界エネルギーはチャクラに蓄積される
業念はチャクラに蓄積される
磁界エネルギー治療はチャクラへの磁界エネルギー供給
体は認識処理の結果
生命エネルギーによる自然治癒力強化

第3章 がん治療

がんの原因は莫大な業念
莫大な業念が蓄積される理由
がんは生活習慣病
がんの発生理由
業念によるがんの発生
マイナス霊位によるがんの発生
磁界エネルギー治療では業念の完全消去が可能
医学によるがん治療実績を超えた磁界エネルギー治療

第4章 統合失調症治療

統合失調症の原因は莫大な業念
莫大な業念が蓄積される理由
統合失調症の原因は他者・環境に与える影響
薬物療法は真の治癒を遅らせる
磁界エネルギー治療による業念の完全消去

第5章 身体構成エネルギー

身体構成エネルギーの発見
身体構成エネルギーと生命エネルギーの関係
生命エネルギーによる長寿効果

第6章 将来イメージ構成期間

将来イメージ構成期間とは何か

第7章 才能

徳と才能の関係
才能分布図
病気の症状は才能として把握可能

第8章 霊位と未来の関係

霊位と把握できる未来の関係
消去対象業念の把握方法
業念分布図（世界全体）
完治までに時間がかかるケース
業念消去はすべての人に必要

第9章 憑依霊による病気の発生

第10章 治療手順

第11章 磁界エネルギー各論

徳は存在の原型
徳の供給源の種類とはたらき（開運による徳は人や社会を支える力）
徳（磁界エネルギー）のはたらき
人の命と徳の関係
お金と徳の関係
社会的評価と徳の関係
人の命はお金では買えない
莫大な磁界エネルギーを提供できる理由
磁界エネルギー治療は遠隔で行うのが当然

第 12 章 磁界エネルギー治療による完治例

風疹消去に成功した磁界エネルギー治療

樹木希林さんのがんを消去した磁界エネルギー治療

甘利明大臣のがんを完治させた磁界エネルギー治療

麻美ゆまさんを完全復帰に導いた磁界エネルギー治療

宮迫博之さん ～胃がんからの完全復活

第 13 章 磁界エネルギー治療（無料サービス）お申込方法

い

第 1 4 章 磁界エネルギー治療お申込方法

第 1 5 章 積徳量を見る方法を変更

輝の会について

滝沢 輝 の経歴・活動実績

第1章 磁界エネルギー治療

磁界エネルギー治療とは

磁界エネルギー治療とは、磁界エネルギー（磁気単極子エネルギー（磁石のS極のエネルギー）。これは徳とも呼ばれます。存在の原型を構成するエネルギーであり、人の活動エネルギーでもあります。）を用いて病気など、肉体の不調和な状態の治療を行うサービスのことで

がん、統合失調症など、医学では直りにくいとされている病気や、その他の病気・体調不良等を対象としています。

創造神界入りした滝沢輝（輝の会会長、磁界エネルギー治療実施責任者）は
「磁界エネルギーを用いて人々を救済しなさい。がんでさえ完全に直すことができます。」

というアドバイスを天から頂きました。

このアドバイスに基づいて始めたのが、磁界エネルギー治療なのです。

磁界エネルギー治療が必要な理由

医学では完全な治療法が確立されていない様々な病気や症状があります。
癌（がん）や統合失調症などが該当します。

磁界エネルギー治療ではこれらの病気の原因を完全に消去することが可能です。
その結果、症状が改善します。（完全に治癒します）

医学で治療困難な病気や、原因不明の病気の治療を行うことができることが、
磁界エネルギー治療の最大のメリットなのです。

磁界エネルギー（徳）は体の原型を構成

磁界エネルギー（徳）は存在の原型を構成するエネルギーです。

体の原型も、磁界エネルギーで構成されています。

この原型を表面意識（通常意識）に映し出すことにより、体は構成されています。

（全ての存在は意識による認識処理の結果です。）

体の原型情報は、本来完全です。不調和は一切ありません。ですから、病気は本来実在しません。

磁界エネルギー（徳）が不足すると、体の原型の情報が損なわれます。その結果、肉体に不調和な状態が発生します。これが、病気等の症状なのです。

ですから、病気の本質的な原因は、磁界エネルギー（徳）の不足なのです。

磁界エネルギーを追加し、不足状態を解消すると、体の原型情報が本来の完全状態になります。その結果、病気等の症状は完全に消えます。

磁界エネルギー治療とは、磁界エネルギー（徳）をお申込者に提供し、体の原型情報の不調和状態を解消することにより、体を健康状態に戻す治療方法なのです。

磁界エネルギー不足が病気の根本原因

肉体は磁界と電界の相互作用で構成されています。

積徳量や霊位がマイナスの人（霊位分布図（輝の会教義）の地界に位置する人）は、磁界エネルギーの量が健康な人よりも少ない状態になっています。

その結果、電界のエネルギー量も健康な人と比べて少なくなります。

2重らせん（5次元理論第2巻）における電界（らせん）の回転数が、健康な人よりも減少するのです。

電界（らせん）の回転数減少は、電子数の減少を意味します。

電子は2重らせんの中心軸縮退(中心軸の長さを0にすること)により構成されています。

電界のらせんが短くなれば、その分だけ電子数は減少します。

体は細胞で構成されています。細胞は分子、分子は原子、原子は電子と原子核でそれぞれ構成されています。

磁界エネルギー — 電子 — 原子 — 分子 — 細胞 — 肉体

磁界エネルギーの減少は、電子の減少を意味します。(前述)

上図から、電子の減少は肉体の弱体化に直結します。

積徳量・霊位がマイナスになると、体が一般の人よりも弱くなります。

その結果、怪我をしやすくなります。また、病気にもかかりやすくなるのです。

逆に積徳量・霊位がプラスになると、肉体が強化されます。磁界エネルギーの余力を用いることにより、肉体の構造が一般の人よりも強化されるのです。

健康を維持するためにも、私たちは積徳量・霊位プラスの状態を継続する努力をしなければなりません。

磁界エネルギーによる業念の消去

周囲の人や環境に与える想念や行為は、自分自身に影響を与えます。

誤った想念や行為は自分自身にも悪影響を与えます。この悪影響を与えるエネルギーを業念と呼びます。

業念は実在しません。(業念は天には存在しません)

実在しないということは、消去可能ということを意味します。

天が人を生かすために人類に送るエネルギーが磁界エネルギーです。

磁界エネルギーは調和のエネルギーなので、業念を消去することが可能です。

業念に磁界エネルギーを当てると、業念は消えます。磁界エネルギーは業念消去に最も有効なエネルギーなのです。

医学で治療できない病気が多い理由

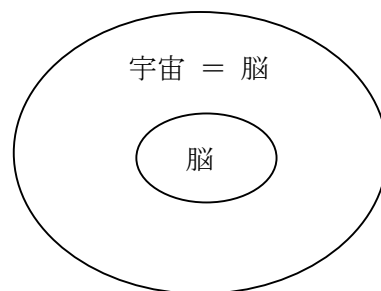
医学の前提は、物理学を中心とする科学知識です。これらの知識が正しいという前提で、医学の治療方法は確立されています。

しかし、物理学は正しくありません。

物理学では、世界を原子の集合体として説明しています。原子（点）の集合で世界が構成されているというのが物理学の立場なのです。

この考え方だと、環境と自分の体は別の原子で構成されているため、環境に何かの影響を与えても、体には何の影響も無いことになります。

同様に、他者に影響を与えても、自分の体には何の影響もないことになります。



しかし、物理学の考え方は正しくありません。

私達は光などの信号を外部から取り入れ、脳で情報処理を行うことにより認識を行っています。私達が見ている世界は、脳で情報処理を行った結果なのです。

宇宙も私達が認識した結果です。その情報は全て私達の脳の中にあるのです。ですから、宇宙の情報は全て脳の中にあるのです。

宇宙が脳の中にあり、その宇宙の中に肉体の頭（脳）があります。

ということは、私たちは常に宇宙大の脳と肉体の脳、大小2種類の脳を同時に認識していることとなります。

宇宙と頭部の脳が同じ脳であるということは、周囲の環境（宇宙）と自分の体（頭部）が同じものであることを意味します。このように、私たちの肉体は周囲の環境と同じ要素で構成されているのです。

物理学の「宇宙と肉体は別の原子で構成されているため、宇宙に影響を与えても肉体には影響がない」という考え方が誤りであることは、以上の説明から明らかなのです。

「周囲の空間（宇宙）と肉体はつながっているため、周囲に与えた影響により肉体が影響を受ける」という考え方が正しいのです。医学では宇宙と人のつながりの見落としをしているため、様々な病気や症状が治療不可能なのです。

医学の治療方法は、物理学の「環境と人はつながっていない」という立場で構成されています。しかし、現実には、人の肉体は周囲の空間や環境とつながっているのです。

その結果、周囲の環境に原因がある様々な病気、症状を医学では治療することができないのです。

肉体と宇宙が同じ要素で構成されているということは、宇宙の大きな空間を小さくして肉体が構成されていることを意味します。宇宙が縮小されて、肉体が出来ているのです。

広い空間や他者に与えた影響も縮小されて、肉体の非常に小さな領域への影響になります。

これらの影響は原子の内部への影響になります。そしてこの影響が時間の経過と共に目に見える症状として現れてきたのが、各種の病気や症状なのです。

<体の構成要素>

（小さい方） 電子 — 原子 — 分子 — 細胞 — 肉体 （大きい方）

体の構成要素を科学知識に基づいて記載しました。

（5次元理論（輝の会教義）では、「惑星の公転軌道が縮小されて電子軌道になる」と解説しています。[惑星軌道と電子軌道は大小逆転結果] を参照願います。）

現在の医学では、治療研究を分子以上の大きな領域を対象として行っており、原子の内部は治療研究の対象外となっています。

ですから、環境に与えた影響が原因となる病気・症状に対して医学は本質的な治療法を発見することができません。その結果、多くの病気の治療方法が確立出来ていないのです。

宇宙と体はつながっています。ですから、周囲に与える影響は体にも影響を与えます。これは原子内部から肉体に影響を与えます。ですから、分子以上の大きさを治療の対象とする現代医学の立場では、多くの病気の治療法を確立することができません。

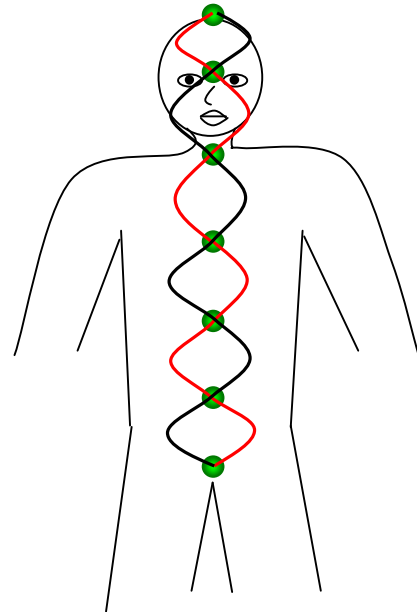
医学者は、宇宙と体がつながっていることを理解すべきです。そして、原子内部に原因がある病気が多数存在することを理解しなければなりません。

それが、真の医療を確立するためのスタートラインなのです。

第2章 磁界エネルギー治療詳細説明

チャクラ

ヨガでは体のエネルギーのポイントである「チャクラ」が存在すると考えられています。
人体にはチャクラが7箇所存在します。
右図の緑の丸がチャクラの場所を表しています。



チャクラの名称等は以下になります。
(右図の上から順に記載します)

1. サハスラーラ・チャクラ
頭頂に位置するチャクラ。このチャクラを開放すると宇宙と一体になり、自分の霊が肉体から離脱し、瞬時にどこへでも行けるようになると言われています。
2. アジナ・チャクラ・・・眉間に位置し、第三の目と呼ばれているチャクラ。
3. ビスダ・チャクラ・・・のどに位置するチャクラ。
4. アナハタ・チャクラ・・・心臓のあたりに位置するチャクラ。
5. マニピュラ・チャクラ・・・ミゾオチとヘソの間に位置するチャクラ。
6. スワディスターナ・チャクラ・・・ヘソの下3～4cmに位置するチャクラ。
7. ムラダーラ・チャクラ・・・尾骶骨の先端に位置するチャクラ。

天界はヨガの悟りの世界

ヨガの究極の目的は、頭頂部にあるサハスラーラ・チャクラを開放して、天と完全な一体感を得ることです。

実は、この一体感で到達する霊的世界が天界なのです。

天界に入るためには磁界エネルギー（ヨガのエネルギーとは、磁界エネルギーのことです）の蓄積が必要です。この蓄積をするための肉体的・精神的準備作業が、ヨガの体操等のトレーニングや瞑想なのです。

輝の会では、磁界エネルギーを生成する方法を理論的に確立しています。

（磁界エネルギー生成方法、磁界エネルギー（オーラ）発生装置（輝の会教義）ご参照）

輝の会では、この理論により大量の磁界エネルギーを生成することにより、容易に天界入りすることが可能となっています。ヨガの悟りの世界に簡単に到達することが出来るのです。

輝の会会員は全員天界に到達しています。保有している磁界エネルギー量が、天界入り可

能な水準に到達しているためです。

これは、ヨガの悟りの状態（サハスラーラ・チャクラが開放されて天と一体になった状態）を1日中実現したまま生活していることを意味します。常に天と一体化しながら生活しているのです。

また、輝の会本尊である輝の神は、天界のさらに上位の創造神界に到達しています。輝の神が会員を導いていることも、会員が常に天と一致しながら生活することができる理由です。

尚、ヨガの最高指導神霊は、天界の16段目に位置しています。

ヨガの修行者は、この神霊の指導を受けながら悟りの境地を目指して修行を続けていることとなります。

ヨガの究極の目的である宇宙との一体化を常に実現しながら通常的生活を送るのが、輝の会会員の一般的な生活スタイルです。普通に生活しているのですが、常に天と一体化出来ているのです。

しかし、ヨガほどの極端な修行は必要ありません。磁界エネルギーを蓄積すれば、誰でも悟りの境地に到達できます。

輝の会では磁界エネルギー生成理論を確立済なので、誰でも天界（悟りの世界）に到達することが可能なのです。

ヨガで悟りの境地に到達できない方には輝の会をお勧めします。

ヨガほどのトレーニングなしでも簡単に悟りの境地に到達できます。

ぜひお試しくださいと思います。

磁界エネルギーはチャクラに蓄積される

天から供給される磁界エネルギーは、常に上のチャクラから下のチャクラに向かって流れています。その結果、上のチャクラほど多くの磁界エネルギーを蓄積しています。

また、積徳行為により蓄積される磁界エネルギー（徳光）も、チャクラに蓄積されます。

このように、チャクラは磁界エネルギーの蓄積場所として機能しているのです。

磁界エネルギーの単位は（人・年）です。

これは天から供給される生命エネルギー（生命維持に使われる徳）の量が最も多い18歳前後の人が、1年間に供給を受ける平均的な生命エネルギー量を1とする単位です。

他の年齢の方が天から供給される磁界エネルギー量は、1年間で1（人・年）以下となります。高齢者ほど供給量が減少します。

老化の原因は、磁界エネルギー供給量の減少による肉体の活動量減少なのです。

業念はチャクラに蓄積される

哺乳類の肉食や妊娠中絶、その他の不徳行為等を行うと、業念が蓄積されます。

特に肉食や中絶では、莫大な業念が蓄積されます。

業念は常に下のチャクラから上のチャクラに向かって蓄積されます。

下のチャクラほど、業念の蓄積量が多くなります。

業念に磁界エネルギーを当てると、業念は消去されます。

ですから、業念はマイナスの磁界エネルギーと考えることができます。

積徳量がプラスの人は、7箇所のチャクラで磁界エネルギーが蓄積されています。

全てのチャクラの磁界エネルギーがプラスの状態です。

積徳量がわずかにマイナスの人（業念が少し蓄積されている人）は、一番下のムラダーラ・チャクラにだけ業念が蓄積されます。他の6箇所のチャクラは磁界エネルギーが蓄積された状態になります。（ムラダーラ・チャクラの磁界エネルギーはマイナス。他の6箇所のチャクラは、磁界エネルギープラスの状態）

積徳量のマイナス幅が大きくなる（業念の蓄積量が増える）と、一番下のムラダーラ・チャクラだけではなく、その上のスワディスターナ・チャクラにも業念が蓄積されます。（ムラダーラ・チャクラとスワディスターナ・チャクラの磁界エネルギーはマイナス。上5箇所のチャクラの磁界エネルギーはプラスの状態）

積徳量のマイナス幅が更に大きくなると、下から3番目のマニピュラ・チャクラにも業念が蓄積されます。（下3箇所のチャクラの磁界エネルギー量はマイナス、上4箇所のチャクラの磁界エネルギーはプラスの状態）

このように、業念の蓄積量が増えれば増えるほど、磁界エネルギー量がマイナスのチャクラの数が多くなります。より下のチャクラほど、磁界エネルギーのマイナス幅が大きくなります。

そして、業念の蓄積量が極端に増えると、下6箇所のチャクラ全てに業念が蓄積されます。

尚、一番上のサハスラーラ・チャクラは磁界エネルギーの入口なので、業念は蓄積されません。

このように、業念が大量に蓄積された状態は、極めて危険な状態です。寿命が大幅に縮んでいるためです。業念を蓄積すればするほど、寿命は短くなるのです。

業念は、下のチャクラから順に蓄積されます。

これは、自分自身が地界に沈んでいくような状態です。

（下から順に暗い状態になるためです）

業念を蓄積したまま他界すると、5箇所のチャクラは残ったままの状態になります。

このチャクラに業念が蓄積されているため、霊位マイナスの世界に移行します。
地界は、業念を蓄積した人々の世界なのです。

尚、業念は実在しません。磁界エネルギーで相殺・消去可能です。
ということは、地界は実在しないことを意味します。地界は誤った想念・行為等により蓄積された業念が消去されるまでの、仮の世界に過ぎないのです。

尚、他界後に残るチャクラの数は、霊位により違いがあります。
(霊位については 霊位分布図 (輝の会教義) を参照願います)

天界以上の霊位に移行する人の場合、頭頂のサハスラーラ・チャクラから抜けた状態であるため、チャクラは残りません。
霊界4に移行する人の場合、チャクラは3箇所残ります。
霊界3以下の世界に移行する人の場合、チャクラは5箇所残ります。
そして、現界の私たちの体は7箇所のチャクラで構成されているのです。

磁界エネルギー治療はチャクラへの磁界エネルギー供給

輝の神 (輝の会本尊。磁界エネルギー治療責任者、滝沢輝の霊的意識) は創造神界に到達しているため、全人類の全チャクラの磁界エネルギー量や業念の蓄積量を全て把握することが可能です。

磁界エネルギー治療では、磁界エネルギーを対象者に提供します。
対象者のチャクラに、輝の神の磁界エネルギーを提供します。
すると、提供する磁界エネルギーと対象者の業念が相殺されるため、対象者の業念は無くなります。

がんや統合失調症等は、チャクラに蓄積されている莫大な量の業念の消去過程で発症します。これらの病気の患者さんに蓄積されている業念の量 (平均値) は以下になります。

がん : 3.06 億 (人・年) 内 2.47 億 (人・年) は哺乳類の肉食が原因
統合失調症 : 1.78 億 (人・年)

天から供給される磁界エネルギー量 (18歳で年間1 (人・年)) に比べて、業念の量がかかるかに多いため、磁界エネルギーを追加供給しないと全てを消去することができません。

磁界エネルギー治療では、1回で100億 (人・年) までの磁界エネルギーを提供致します。

これだけの磁界エネルギーを提供すれば、すべてのがん、統合失調症の原因である業念 (1人分) をすべて消去することが可能です。

チャクラに蓄積されている業念を全て消去すれば、がんや統合失調症などの症状は完全に治癒します。

これが、磁界エネルギー治療の原理なのです。

2015年1月に、積徳量を見る方法を変更しました。

(第15章 積徳量を見る方法を変更 ご参照)

本ページの業念の量は、それ以前の方法で確認したものです。

体は認識処理の結果

人の体は認識（処理）の結果です。宇宙全体も認識の結果です。

認識は人の意識で行います。この意識の主要なポイントがチャクラなのです。

認識結果にはチャクラの状態が反映されます。チャクラに業念が蓄積されている場合、その歪んだエネルギーが肉体に反映されます。これが病気と呼ばれる症状なのです。

磁界エネルギー治療では、チャクラの業念を消去します。すると、チャクラの調和状態が認識(処理)により体の状態に反映されます。その結果、病気の症状が完全に治癒します。

これが病気治療の本来のあり方なのです。

生命エネルギーによる自然治癒力強化

輝の会は生命エネルギーを発見しました。

これは人の生命を司るエネルギーです。

生命エネルギーは人の体を維持するために天から全ての人に提供されているエネルギーです。

ですから、このエネルギーを追加すると、病気や怪我に対する自然治癒力が強化されます。その結果、回復が早くなります。

磁界エネルギー治療お申込者に対し必要に応じて生命エネルギーを追加提供します。

このエネルギーにより自然治癒力が強化され、病気や怪我からの早期回復を実現します。

これが、磁界エネルギー治療の特徴の1つなのです。

第3章 がん治療

がんの原因は莫大な業念

がんの特徴は、業念の量が極めて多いことです。

がんの原因となる業念を全て消去するために必要な磁界エネルギー量の平均値は以下の通りです。

がん：3.06 億（人・年） 内 2.47 億（人・年）は哺乳類の肉食が原因

（人・年）は、天から供給される生命エネルギー（生命維持に使われる徳）の量が最も多い18歳前後の人が、1年間に供給を受ける平均的な生命エネルギー量を1とする単位です。

1（人・年）の業念を消去するためには、1（人・年）の磁界エネルギーが必要です。

ですから、その前に業念を消去する必要があります。莫大なエネルギー（業念）の消去が肉体を通じて行われることとなります。これが、がんの症状なのです。

がんでは、業念の量が極めて多いため、その消去過程で極端な症状が発生します。病気の様々な症状は、業念を消去する作用なのです。業念が多いため、極端に強い症状に見舞われるのです。（強い症状ほど、消去される業念の量は多くなります）

尚、病気自体は実在しません（天界以上の世界に病気は存在しません）。

誤った想念・行為（業念）の消去過程で発生する各種の症状を病気と呼んでいるのです。

業念を発する人がいなくなれば、病気も無くなります。病気が実在しないためです。

2015年1月に、積徳量を見る方法を変更しました。

（第15章 積徳量を見る方法を変更 ご参照）

本ページの業念の量は、それ以前の方法で確認したものです。

莫大な業念が蓄積される理由

莫大な量の業念が蓄積される理由は様々です。

以下に具体例を記載します。

1. 歪んだ想念

世界は人の意識で構成されています。また、宇宙と人はつながっているため、周囲に発する想念は、自分自身に記録されます。

世界はフラクタル構造です。フラクタル構造では重ね合わせが起こるため、エネルギーが増幅されます。歪んだ想念（他者や環境等を傷つける想念）を継続的に発し続けると、歪んだ想念の増幅が続きます。これは莫大な業念となり、自身に全て記録されます。（宇宙と人はつながっており、人が宇宙を内包しているためです）

2. 肉食（哺乳類）

哺乳類（牛・豚等）を食べる行為も、同様の結果となります。

動物に供給される磁界エネルギー量は人と異なるため、蓄積される業の量も人とは異なります。

牛1頭で2376万（人・年）、豚1頭で1487万（人・年）ほどの磁界エネルギーを奪ったという記録になります。

牛1頭からは300kgほどの精肉ができます。日本人の牛肉消費量は年平均で5.9kg（2009年）です。50年食べ続けると、295kgの消費量になります。ほぼ牛1頭を食べることになります。

豚1頭からは50kgほどの精肉ができます。日本人の豚肉消費量は年平均で11.5kg（2009年）です。50年食べ続けると、575kgの消費量になります。豚11.5頭を食べる計算になります。

以上から、牛肉・豚肉の50年間の消費により記録される業念（牛・豚から奪った磁界エネルギー量）は、日本人平均で1.95億（人・年）になります。

63年間同じペースで牛肉・豚肉を食べ続けると、がん患者の平均的な肉食（哺乳類）による業念蓄積量（2.47億（人・年））にほぼ一致します。

動物の場合、加工される際に麻酔を受けるわけではありませんから、強力な痛みを感じていると思われます。これらの動物の肉を食べる人は、動物にこの痛みを与えたという事実が記録されます。

がんの特徴は、がまんできない程の痛みです。この痛みは、痛みを与えたという記録の消去過程として発生しています。哺乳類の食べる行為自体が、痛みを与えたという記録になります。そして、がんの痛みとして消えていくのです。（がん以外の病気についても、痛みの原因になっています）

2015年1月に、積徳量を見る方法を変更しました。

（第15章 積徳量を見る方法を変更 ご参照）

本ページの業念の量は、それ以前の方法で確認したものです。

がんは生活習慣病

がんの主な原因は哺乳類を食べる行為です。

哺乳類は食べ物ではありません。宇宙はフラクタルで構成されています。哺乳類の動物と人は互いに内包しあっています。遺伝子も何らかのつながりがあると考えられます。哺乳類を食べる行為は遺伝子に食べられる（破壊される）という記録を行っていると思われれます。そして、この記録が実現するとき、細胞が破壊されていくのです。これが、がんと呼ばれる症状です。

がんは生活習慣病です。哺乳類の肉食という生活習慣が、がんの主な原因なのです。ですから、哺乳類の肉食をやめるだけで、がん患者数は激減します。

がん対策として様々な研究が行なわれていますが、最も有効な対策は、哺乳類の肉食をやめることなのです。

がんのエネルギーの大半は、哺乳類の肉食をしている本人のエネルギーなのです。

このエネルギーが自分自身の肉体に返ってきている状態をがんと呼ぶのです。

ですから、最善の対策は生活習慣を変えることなのです。

がんの発生理由

宇宙は2重円構造で構成されています。（5次元理論第2巻ご参照）

2重円構造は2意識（内面意識（磁界）、表面意識（電界））のペアで構成されています。宇宙は人の意識で構成されているのです。

内面意識の世界に宇宙の原型があり、これを表面意識に映し出すこと（コピーすること）により宇宙は構成されています。（鏡像原理 参照）

また、内面意識→表面意識のコピーは、電界・磁界の相互作用でもあるのです。

このコピーの際、外部からの別の作用（電界・磁界に影響を与える作用）があると、コピーがうまくいかない場合があります。

がんとは、このコピーの際に不正が発生することなのです。

ですから、がん治療において重要なことは、コピーの際の外部からの影響を除去することです。

磁界エネルギー治療で提供する磁界エネルギーは、創造神界のエネルギー（内面意識の世界にある宇宙の原型情報そのもの）であり、コピー時の外部からの影響を除去するはたらきが最も強いエネルギーです。

よって、磁界エネルギー治療はがん治療のために最も有効な治療法なのです。

業念によるがんの発生

周囲の人や環境に与える想念や行為は、自分自身に影響を与えます。

誤った想念や行為は自分自身にも悪影響を与えます。この悪影響を与えるエネルギーを業念と呼びます。

業念は実在しません。(業念は天には存在しません)

実在しないということは、消去可能ということを意味します。

プラスの磁界エネルギーにより消去することが可能なのです。

業念が消去未済の場合、不調和な現象が発生することにより、業念は消去されます。

周囲にマイナスの影響を与えると、マイナスエネルギーが蓄積されます。そして、これが消える際には、業念を発した人がマイナスエネルギーの影響を受けるのです。

業念は科学的には測定されていない、人や社会に破壊をもたらす危険なエネルギーです。ですから、これを消去することが社会の安定に必須なのです。

業念はマイナスの磁界エネルギーであるため、電界・磁界の相互作用である2重円の認識処理(遺伝子コピー等)に悪影響を与えます。遺伝子のコピーが正確に行われなくなるのです。これはがんの発生を意味します。

業念の蓄積が、本質的ながんの発生理由なのです。

これは業念を浄化すれば、がんが無くなることを意味します。業念を消去すればがんは消えるのです。

磁界エネルギー治療は磁界エネルギーで業念を消去します。この治療方法はがん対策として極めて有効であることを、以上の説明でご理解頂けると幸いです。

マイナス霊位によるがんの発生

肉体は磁界と電界の相互作用で構成されています。

マイナス霊位の人(霊位分布図(輝の会教義)の地界に位置する人)は、磁界エネルギーの量が健康な人よりも減少します。その結果、電界のエネルギー量も健康な人と比べて少なくなります。

2重らせんにおける電界(らせん)の回転数が、健康な人よりも減少するのです。

電界(らせん)の回転数減少は、電子数の減少を意味します。電子は2重らせんの中心軸縮退(中心軸の長さを0にすること)により構成されています。電界のらせんが短くなれば、その分だけ電子数は減少するのです。

DNAは強いマイナス電荷を帯びています。また、電子の電荷はマイナスです。

マイナス霊位により電子数が減少すると、DNAのマイナス電荷が減少することになりま

す。DNA が異常になるのです。

がんは DNA の異常が原因で発生する病気です。

以上の説明で、マイナス霊位が、がんの直接的な原因になることが分かります。

磁界エネルギー治療では、磁界エネルギーを対象者に提供することにより、磁界エネルギー量をプラスにします。その結果、肉体の電子数の不足状態が解消されます。当然 DNA のマイナス電荷も正常な状態に戻ります。その結果、DNA の異常が解消されます。これはがん消去に直結するのです。

このように、磁界エネルギー治療のがんに対する有効性は、完璧な理論として確立されているのです。

磁界エネルギー治療では業念の完全消去が可能

磁界エネルギー治療では、病気の原因を消去するために必要な磁界エネルギーを、お申込者に提供します。

全てのがん患者や統合失調症患者の症状の原因となる業念（1人分）を全て消去できるだけの磁界エネルギー量を提供します。

原因となる業念を全て消去すれば、がんや統合失調症の症状は当然改善します。

磁界エネルギー治療では、このように医学では十分に対応できない病気の治療が可能なのです。

磁界エネルギーは電磁波の原理で世界中のどこへでも送ることが可能です。

お申込者には輝の神から直接磁界エネルギーを送ります。

ですから、お申込者は輝の会に来られる必要はありません。

在宅のまま治療を受けられることが、磁界エネルギー治療の特徴なのです。

磁界エネルギー治療では、医薬品は一切使用しません。

また、外科手術も一切行いません。

体に一切負担をかけずに、自然治癒力を強化することにより治療を行います。

磁界エネルギー（人の活動エネルギー）を使用し、自然治癒力を活用して治療を行うことも、磁界エネルギー治療の特徴なのです。

医学によるがん治療実績を超えた磁界エネルギー治療

輝の会では世界中のがん患者の方々に対して磁界エネルギー治療を実施しています。

先日、磁界エネルギー治療によるがんの治療実績が医学によるがん治療実績を上回りましたので、報告させていただきます。

医学によるがんの治療実績は、積徳量で 7910 億（人・年）です。

一方、磁界エネルギー治療による治療実績は、積徳量で 8000 億（人・年）を超えました。

（共に 2013.12.27 時点。創造神界の記録です。

創造神界にはこれらの正確な記録があるのです。）

医学によるがん治療は、世界中の医者が 100 年以上の期間をかけて蓄積した実績です。

一方、磁界エネルギー治療は 2012 年に開始したばかりです。まだ 2 年目にすぎません。

これは、磁界エネルギー治療によるがん治療効果が、医学よりも格段に優れていることを意味します。

磁界エネルギー治療の効果をご理解頂きたいと思います。

第4章 統合失調症治療

統合失調症の原因は莫大な業念

統合失調症の特徴は、業念の量が極めて多いことです。

統合失調症の原因となる業念を全て消去するために必要な磁界エネルギー量の平均値は以下の通りです。

統合失調症 : 1.78 億 (人・年)

1 (人・年) とは、天から供給される生命エネルギー (生命維持に使われる徳) の量が最も多い 18 歳前後の人が、1 年間に供給を受ける平均的な生命エネルギー量を 1 とする単位です。

1 (人・年) の業念を消去するためには、1 (人・年) の磁界エネルギーが必要です。

この業念を蓄積したまま他界すると、地界 (積徳量マイナスの人の世界) に移行します。ですから、その前に業念を消去する必要があります。莫大なエネルギー (業念) の消去が肉体を通じて行われることとなります。これが、統合失調症の症状なのです。

統合失調症では、業念の量が極めて多いため、その消去過程で極端な症状が発生します。病気の様々な症状は、業念を消去する作用なのです。業念が多いため、極端に強い症状に見舞われるのです。(強い症状ほど、消去される業念の量は多くなります)

尚、病気自体は実在しません (天界以上の世界に病気は存在しません)。

誤った想念・行為 (業念) の消去過程で発生する各種の症状を病気と呼んでいるのです。業念を発する人がいなくなれば、病気も無くなります。病気が実在しないためです。

2015 年 1 月に、積徳量を見る方法を変更しました。

(第 15 章 積徳量を見る方法を変更 ご参照)

本ページの業念の量は、それ以前の方法で確認したものです。

莫大な業念が蓄積される理由

莫大な量の業念が蓄積される理由は様々です。

以下に具体例を記載します。

1. 歪んだ想念

世界は人の意識で構成されています。

また、宇宙と人はつながっているため、周囲に発する想念は、自分自身に記録されます。

世界はフラクタル構造です。

フラクタル構造では重ね合わせが起こるため、エネルギーが増幅されます。

歪んだ想念（他者や環境等を傷つける想念）を継続的に発し続けると、歪んだ想念の増幅が続きます。

これは莫大な業念となり、自身に全て記録されます。

（宇宙と人はつながっており、人が宇宙を内包しているためです）

2. 中絶

妊娠中絶を行うと、人の命が奪われることとなります。

その結果、関係者に莫大な業念が蓄積されます。

1人の中絶で関係者に48億（人・年）程の業念が関係者に記録されます。

尚、中絶により蓄積される業念は、主に精神性の疾患（統合失調症等）の原因となります。

統合失調症の原因は他者・環境に与える影響

統合失調症は、他者や環境に与える影響が原因で起こる病気です。

周囲の人や環境に与える想念や行為は、自分自身に影響を与えます。誤った想念や行為は自分自身にも悪影響を与えます。この悪影響が症状として現われるのが、統合失調症なのです。

誤った想念や行為により体に悪影響を及ぼすエネルギーを業念と呼びます。

業念は実在しません。（業念は天には存在しません）

実在しないということは、消去可能ということを意味します。

天が人を生かすために人類に送るエネルギーを磁界エネルギーと呼びます。

輝の会では磁界エネルギーを生成する方法を理論的に解明済です。

（磁界エネルギー生成方法 参照）

磁界エネルギーは調和のエネルギーなので、業念を消去することが可能です。

輝の会の磁界エネルギー治療では、磁界エネルギーを対象者に送ります。このエネルギーが対象者の業念を消去します。その結果、統合失調症の症状が改善します。

このように、輝の会では統合失調症を改善する理論的な方法を確立しています。

ですから、安心してお申込頂けるのです。

薬物療法は真の治癒を遅らせる

医学では、統合失調症の患者に対して大量の薬物を提供します。薬物で幻聴や幻覚などの症状を緩和するためです。症状が表面化することを抑えることを目的としているのです。

医学では、統合失調症で解決すべきは症状（幻聴・幻覚等）であり、症状を抑えれば（無くなれば）治療が成功したという立場をとっているのです。

しかし、統合失調症の症状は業念の消去目的で現れています。

業念消去は魂の浄化作用と考えることができます。業念を消去すると霊位が上昇します。

霊位は永遠の価値ですから、統合失調症の原因である業念を全て消去する必要があります。

真の治癒は業念の消去なのです。業念が完全に消えていない間は、統合失調症が治ったとは言えません。

現在の薬物療法は症状が現れることを抑える働きになっています。その結果、業念消去が遅れる原因となっているのです。

薬物療法は真の治癒（業念消去）を遅らせるため、霊位上昇の阻害要因となっています。ですから、薬物療法は真の治療法とは言えないのです。

輝の会の磁界エネルギー治療では磁界エネルギーにより業念の消去を行います。

この方法が統合失調症に対する真の解決方法なのです。

磁界エネルギー治療による業念の完全消去

磁界エネルギー治療では、お申込者の症状の原因となる業念を全て消去できるだけの磁界エネルギーをお申込者に提供します。

原因となる業念を全て消去すれば、統合失調症の症状は当然改善します。

磁界エネルギー治療では、このように医学では十分に対応できない病気の治療が可能なのです。

磁界エネルギーは電磁波の原理で世界中のどこへでも送ることが可能です。

お申込者には輝の神から直接磁界エネルギーを送ります。

ですから、お申込者は輝の会に来られる必要はありません。

在宅のまま治療を受けられることが、磁界エネルギー治療の特徴なのです。

磁界エネルギー治療では、医薬品は一切使用しません。

また、外科手術も一切行いません。

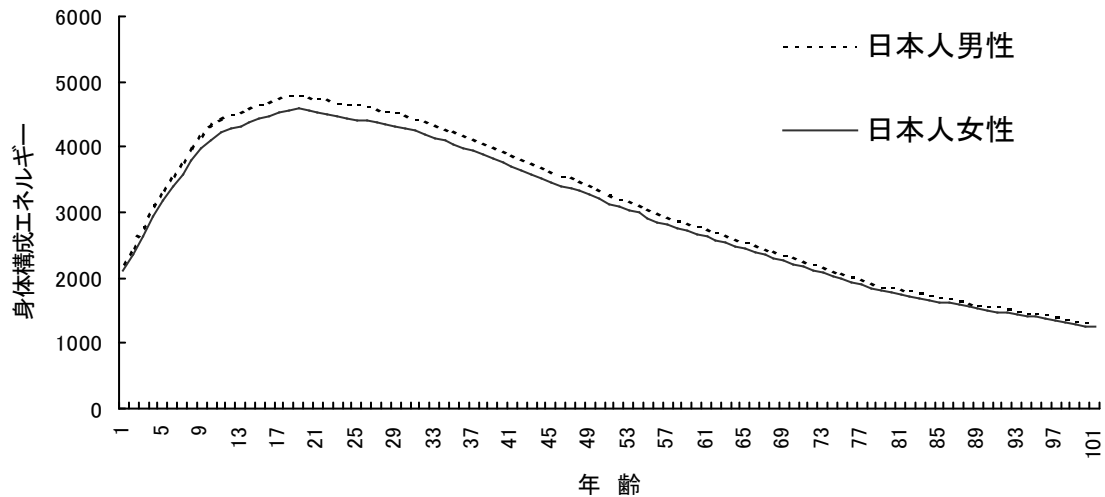
体に一切負担をかけずに、自然治癒力を強化することにより治療を行います。

磁界エネルギー（人の活動エネルギー）を使用し、自然治癒力を活用して治療を行うことも、磁界エネルギー治療の特徴なのです。

第5章 身体構成エネルギー

身体構成エネルギーの発見

身体構成エネルギー曲線



本章では、新たに発見した「**身体構成エネルギー**」について説明します。

身体構成エネルギーとは、人の体の原型を構成する磁界エネルギー（磁気単極子エネルギー）のことです。

年齢別で身体構成エネルギーが最も多いのは、18歳前後の人です。

この年齢の日本人男性で4816万（人・年）、日本人女性で4592万（人・年）のエネルギー量になります。

上のグラフは、年齢別の身体構成エネルギー量を表しています。単位は万（人・年）です。男女を分けてグラフを作成しました。

身体活動が最も活動的になるのは、18歳前後の時です。

そして、年齢を重ねるほど身体機能が衰えるのが一般的です。

（輝の会会員は長寿サービスにより、身体機能は衰えません）

その理由は、身体構成エネルギーが年齢と共に減少するためです、身体構成エネルギーが減少すると、体の機能は衰えます。

ですから、身体活動が不自由になるのです。

身体構成エネルギーと生命エネルギーの関係

生命エネルギーは、生命維持のために天から供給される磁界エネルギー（磁気単極子エネルギー）です。天からの供給量が最も多い18歳前後の人が1年間に供給される生命エネルギーは1（人・年）です。

一方、身体構成エネルギーは18前後の男性で4816万（人・年）になります。

どちらも身体を維持するためのエネルギーですから、何らかの関連があるはずですが、エネルギー量は全く異なります。

このエネルギー量の差はどこから生じるのでしょうか。

実は、身体構成エネルギーは、36秒分の生命エネルギーで構成されています。生命エネルギーは1年で1（人・年）ですから、36秒分の生命エネルギー量は

$36 \div (60 \times 60 \times 24 \times 365)$ （人・年）になります。

男性の身体構成エネルギーとの比は、以下になります。

$48160000 \div (36 \div (60 \times 60 \times 24 \times 365)) \approx 42.19$ （兆）

このように、生命エネルギー供給量に比べて、身体構成エネルギーは、42.19兆倍になります。

人の体は、一般に約60兆個の細胞で構成されていると考えられています。

42.19兆という数字は、実は細胞の数を意味しているのです。

人の細胞1つに1年間で1（人・年）の生命エネルギーが流れれば、全細胞には1年間で42.19兆（人・年）のエネルギーが流れます。

36秒間では、全細胞に4816万（人・年）の生命エネルギーが流れます。これが、身体構成エネルギーになるのです。

このように、身体構成エネルギーは、生命エネルギーの増幅結果なのです。

細胞構成のポイントは、宇宙大の意識の回転です。

宇宙は人の認識処理の結果です。

人の意識は高速回転しています。その結果として宇宙を認識しています。

人の意識が宇宙を何度も回転することにより、様々な物質の認識が成立しています。

人の1つの細胞は、意識が宇宙全体を一巡することにより構成されます。

身体を構成する細胞数分だけ意識が宇宙を回転することにより、全ての細胞、即ち人の身

体は構成されているのです。

すべての細胞は宇宙を循環する意識で構成されているため、つながっています。

しかし、人の細胞は独立した存在として人の身体を構成しているように見えます。

生命エネルギーは、1年で1（人・年）供給されます。これは全ての細胞を流れます。

各細胞は独立した細胞として身体を構成します。その結果、人の身体を構成する磁界エネルギーは細胞数倍になります。これが1年で42兆（人・年）程の身体構成エネルギーになるのです。

但し、業念の蓄積が行われると、その分だけ細胞を構成する身体構成エネルギーは減少します。その結果、上記の生命エネルギーと身体構成エネルギーの関係は成立しなくなります。

ある人の全ての細胞には、同じ遺伝子が存在します。

これは、細胞が人の意識による宇宙大の回転により構成されているためです。

細胞の構成要因は宇宙です。宇宙は1つです。

ですから、別々の細胞に同一の遺伝子が存在するのです。

人により遺伝子が異なるのは、意識の回転方法が人により異なるためだと考えられます。

生命エネルギーによる長寿効果

身体構成エネルギーは、生命エネルギーの増幅結果であると説明しました。

老化の原因は生命エネルギーの減少です。

生命エネルギーの減少により身体構成エネルギーが減少し、身体機能が衰えるのです。

生命エネルギーを追加供給し、生命エネルギーの減少を防止すると、身体構成エネルギーも減少しません。

その結果、身体機能を常に若々しい状態に維持することが可能となります。

このように、生命エネルギーの追加供給により、長寿を実現することが可能なのです。

輝の会では無料長寿サービス（生命エネルギー追加供給サービス）を提供しています。

ご利用をお待ちしております。

第6章 将来イメージ構成期間

将来イメージ構成期間とは何か

未来の人生は徳（磁気単極子エネルギー）で構成されています。

徳（磁気単極子エネルギー）は天界以上の完全調和世界を構成するエネルギーです。

天界以上の完全調和世界で、人の未来が構成されているのです。

この、人生の未来が構成されている期間を「**将来イメージ構成期間**」と命名します。

将来イメージ構成期間は、個人単位で別々に構成されています。

時間の経過共に、この将来イメージは実現します。

将来イメージは現在の状態になり、過去になります。

私たちはこの現在の状態の中で生活しているのです。

将来イメージ構成期間は、寿命が確定している期間と考えることができます。

将来のイメージが構成されている間は、身体で活動することが確定しているためです。

ですから、将来イメージ構成期間が長ければ長いほど、安定した人生を送ることが可能です。

しかし、徳が不足すると、将来イメージ構成期間が減少することがあります。

将来イメージ構成期間を構成していた徳（磁気単極子エネルギー）を他の用途に使用すると、その分だけ将来イメージ構成期間が短くなります。

将来イメージ構成期間が無い期間は、将来が不確定な期間です。

将来イメージ構成期間が短くなると、その分だけ確定していた将来が不確定になります。

これは、将来が不安定になることを意味します。

人生が不安定になってしまうのです。

ですから、徳不足から将来イメージ構成期間を短くすることは、できるだけ回避する必要があります。

第7章 才能

徳と才能の関係

才能	才能を構成する徳 万(人・年)
釈迦の悟り	38,686
リンカーンの政治力	6,886
坂本龍馬の政治力	3,492
松下幸之助の経営力	3,277
アインシュタインの物理解得力	4,963
モーツァルトの作曲力	978
美空ひばりの歌唱力	388
5代目三遊亭円楽の落語力	487
大山倍達の空手(極真会館)	486
大山康晴 15世名人の将棋	334

※敬称は省略しています。

※生前の才能を構成する徳の量を記載しています。

(霊界でさらに才能を高められています)

徳(磁気単極子エネルギー)は人生の原型を構成するエネルギーです。

(徳は存在の原型(教義)ご参照)

徳(磁気単極子エネルギー)は才能をつくるエネルギーでもあります。

人の才能は、徳で構成されているのです。天才と呼ばれる人々に共通する特徴は、その才能を構成する徳の量が極めて多いことです。

一覧表に、才能とその才能を構成する徳の量を記載しました。

釈迦(輝の会守護神)の宗教的な悟りの才能は、38686万(人・年)の徳で構成されています。

稀代の宗教家は、莫大な功德の賜物として宗教的才能を授かっていたのです。

松下幸之助氏の経営の才能は、3277万(人・年)の徳で構成されています。

経営の神様と呼ばれた氏の能力は、莫大な徳で構成されていたのです。

極真空手の創始者、大山倍達氏の空手の才能は、486万(人・年)の徳で構成されています。

天才空手家は、莫大な功德によりその才能を開花させたのです。

一覧表を見ると、才能を構成する徳の量が、社会に与えた影響度で変わることが分かります。

す。

影響の大きい働きをしている人の方が、徳の量が多くなっているのです。

その理由は因果律です。与える者は与えられます。

上表の方々は、人々を育てることに熱心でした。自分の才能を、大勢の人々に広め続けたのです。これは大きな功德になります。

ある知識を人に教えれば、その知識は広まります。その分だけ、教えた人には徳が提供されます。

大勢の人に教えると、それだけ多くの徳を受けることができるのです。

この徳は、教えた分野の理解度の向上という形で、教えた人に還元されます。

これは、徳（磁気単極子エネルギー）が教えた分野の才能を構成することを意味します。

教えると、教えた人の才能を構成する徳（磁気単極子エネルギー）が増加するのです。

その結果、才能がより向上します。

一覧表の方々は大勢の人を育てることにより、その才能がレベルアップを続けていたのです。

だからこそ、高度な能力を発揮し続けることができたのです。

より広範囲な人々に影響を与えると、それだけ多くの徳が還元されます。その結果、才能がより高度になります。

比較的狭い範囲の人々に影響を与えた場合、広範囲に影響を与えた人ほど徳が還元されません。

この差が、表の「才能を構成する徳」の量の差を意味します。

ある一分野を極めるより、釈迦のように大勢の人々に影響を与える方が、還元される徳が多くなるのです。

才能は肉体消滅後も継続します。指導神霊は、生前に獲得した才能を使って、大勢の人々を導いています。才能は永遠の価値なのです。

日本人の積徳量は 1989 年～2011 年の 22 年間、マイナスでした。

（天皇家による日本の繁栄 ご参照）

「失われた 20 年」という言葉をよく耳にします。これは日本人の積徳量がマイナスだった期間を意味しています。（正確には、「失われた 22 年」になります）

徳を失うことは、本来獲得できるはずの才能が獲得できないことを意味します。これが日本のあらゆる分野で起こっていたのです。

その結果、あらゆる分野（産業や文化等）で、日本人は本来発揮できる力を十分に発揮できていなかったこととなります。これが国際競争力・経済力の低下等の原因だったのです。

積徳量をプラスにすれば、あらゆる分野の才能が向上し、日本の競争力も力強さを取り戻すことができます。

才能分布図

才能合計 万（人・年）	人数分布	才能合計 万（人・年）	人数分布
30000～	0（人）	7000～	138（万人）
25000～	231（人）	6500～	1206（万人）
20000～	3679（人）	6000～	2237（万人）
15000～	2.07（万人）	5500～	3956（万人）
14000～	1.84（万人）	5000～	1928（万人）
13000～	2.71（万人）	4500～	456（万人）
12000～	3.42（万人）	4000～	156（万人）
11000～	4.93（万人）	3000～	85.7（万人）
10000～	6.83（万人）	2000～	13.3（万人）
9000～	9.38（万人）	1000～	2.46（万人）
8000～	14.8（万人）	～1000	6100（人）

※対象者は15～80歳の日本人。（滝沢（輝の会会長）を除く）

才能分布図を作成しました。

これは、才能を構成する徳（磁気単極子エネルギー）を個人別に合計した値の分布を示しています。個人の全才能の分布図になります。

対象者は15歳～80歳の日本人です。

（滝沢（輝の会会長）は値が極端に大きいため、分布図及び以下の説明において対象外にしています）

平均値は5786万（人・年）です。（2013.3.25時点）

3億（人・年）を超える人は1人もいません。

25000万（人・年）以上の人は、231人です。これは、平均値の5倍程度の才能を持つ人が、ごく稀に存在することを意味しています。

才能のうち最も大きい割合を占めているのは、各種知識です。

1人平均で2768万（人・年）の才能になります。（全才能の47%になります）

現在は知識が重要視される社会です。子供の時から義務教育で知識を保有することが要求されます。

これが才能に反映された結果、才能の半分ほどを知識が占めているのです。

スポーツを行う能力も、才能の中で大きな割合を占めています。

平均で588万（人・年）の才能となっています。

日本語を使うことは当たり前だと感じている方が多いかもしれませんが、これも才能です。平均で181万（人・年）の才能になります。記憶力も重要な才能です。平均で128万（人・年）の才能になっています。

従来、人の全才能を数値化することは不可能でした。しかし、上記の説明でお分かり頂ける通り、人の才能を数値化して管理することは可能です。これは、人の才能を高度化することが、容易になったことを意味します。

才能を構成する徳（磁気単極子エネルギー）を増加させると、才能は高度化します。この方法により、人類は短期間で高度な才能を身につけることが可能になったのです。

病気の症状は才能として把握可能

病気が原因で通常の生活に支障を来すことがあります。精神的な病気（うつ病や統合失調症等）で出社できないケースや、何らかの病気で介護が必要なケースなど、様々なケースがあります。

この時、才能が大幅に減少しているのが一般的です。才能の平均は5800万（人・年）（才能分布図 参照）ですが、生活に支障がある場合、5000万（人・年）以下になっていることが多いのです。

才能は、人が本能以外の活動を行う能力です。歩く能力も才能です。（人以外の動物は2足歩行しません）仕事を行う能力も才能です。

病気の原因となる業念消去過程で徳が不足すると、才能の徳を消費する場合があります。すると才能が過度に減少します。そして仕事を行う能力等、日常生活に必要な才能を失う結果につながるのです。

例えば、うつ病で出社できないケースは、仕事の才能を失っている状態だと考えることができます。

このように、病気により日常生活に支障がある場合、その病気の症状は才能の減少として把握することが可能です。

この症状の治療過程では、才能の徳が増加します。増加分だけ才能が復活します。これは日常生活の支障が減少することを意味します。

才能の状態を把握することは、病気の症状を把握するために極めて重要なのです。

第8章 霊位と未来の関係

霊位と把握できる未来の関係

高い霊位の世界は、未来を構成しています。

時間はエネルギー（教義）であると説明しました。

霊位は、内面意識（霊的）における徳（磁気単極子エネルギー）の蓄積量で決まります。

霊位の高い世界ほど、エネルギーの高い世界なのです。

霊位の高い世界はこのエネルギーの分だけ、日常世界よりも未来を構成しています。

霊位	磁気単極子エネルギー (人・年)	時間差 (年)
創造神界	10000兆	17.68
	1兆	12.68
	50億	8.85
天界-29	1億	6.38
天界-20	100万	5.18
天界-10	1万	4.18
天界-1	100	3.68
平均霊位	7	2.36
霊界3-1	0.18	0.47
基準	0	0

霊位別の時間差（通常の世界と霊界（未来）の時間差）を表にまとめました。

霊位が基準（磁気単極子エネルギーが0の霊界）の世界では、時間差は0となります。

通常の世界と内面（霊的意識）で把握する時間が一致している状態になります。

この霊位では、未来を把握することはできません。

人類の平均霊位（磁界エネルギー量が7（人・年）（2013年7月時点））では、時間差は2.36年となります。

平均的な人は、内面（霊的意識）で2.36年ほど未来を把握できる状態となっているのです。

未来を把握できれば、その情報を元に行動します。

未来を先取りした行動を起こすことができるようになるのです。

これは、人類の発展がそれだけ早くなることを意味します。

霊位が上昇すると、人類の向上が早くなるのです。

このように、人の意識は内面（霊的意識、心）と表面（通常の意識）で時間差が発生しています。

霊位が高くなればなるほど、より先の未来を内面で把握できるのです。

私たちは通常、将来やりたいことや希望を心の中にイメージします。

これは、内面意識（心）が未来につながっているためです。

内面意識でイメージすると、それが将来に実現します。

これが未来の運命を創造する一般的な方法です。

（実現しない方がよいことをイメージすると、守護神霊が修正する場合があります。この場合、イメージは実現しません。このようにして守護神霊は人々を守っているのです）

神霊の世界（霊位の高い世界）は、私たちの世界の未来で構成されています。

ですから、神霊は私たちの未来を創造することが可能です。

神霊に何かを依頼すると、神霊は依頼者の未来を創造します。

（この時、依頼者は徳を失うのが一般的です。神霊に働いて頂くと、その分徳を失います）

このようにして、神霊は人々の依頼に対応されているのです。

天界1段目（天界の最下層）では、3.68（年）の時間差となります。

天界に入ると、より先の未来を把握できるようになります。

創造神界（50億（人・年）の磁気単極子エネルギー）では、8.85年先の未来を把握できます。

天界の神霊よりも更に先の未来を把握できるのです。

尚、同じ霊位の神霊でも、把握できる未来には差があります。

神霊により、能力差があります。

同じ霊位でも、遠い未来を把握できる神霊と、表の時間差しか把握できない神霊がいます。

表は、あくまで霊界と通常の世界の時間差です。神霊の能力を規定している訳ではありません。

滝沢（輝の会会長）は86年先の未来まで把握することが可能です。（2013年7月時点）

人の平均寿命と同程度の未来を把握できるのです。

消去対象業念の把握方法

磁界エネルギー治療では、対象者の業念を消去します。

この業念とは、将来病気の症状として身体に現れる、歪んだ想念エネルギーです。

業念を把握できる理由は、内面意識（霊的意識）で未来を把握できるためです。

未来を把握すると、将来病気等の形で身体に現れる業念の量が分かります。
 これが、磁界エネルギー治療で消去対象となる業念です。
 この業念を消去すれば、将来現れる予定だった病気の症状が無くなります。
 これは、病気の消去を意味します。
 磁界エネルギー治療では、このようにして病気を完全に治療します。

滝沢（輝の会会長）は 86 年先の未来まで把握することが可能です。
 人の平均寿命ほどの未来を把握できるのです。

この能力を用いて人の業念の量を把握します。
 すると、病気の原因となる業念をほぼ全て把握することができます。

磁界エネルギー治療では、人の一生涯分（86 年分）の業念（病気の原因）を全て把握した上で、その消去を行います。
 その結果、病気をほぼ完全に治療することが可能なのです。

業念分布図（世界全体）（2015.1.19 時点）

業念分布図（世界全体）を更新しました。
 業念は不調和な（調和状態を破壊する）想念・行為により、自分自身に蓄積されるエネルギーのことです。
 業念蓄積量は、このエネルギーの蓄積量を意味します。単位は（人・年）です。これは、18歳前後の人が天から供給される磁気単電子エネルギー（増幅前）1年分を1とする単位です。

今般、業念の量を正確に把握することが可能になりました。（チャクラは対称形 ご参照）

その結果、前回分布図よりも業念蓄積量の極端に多い人が増えました。

1000兆（人・年）以上の人は37人です。

業念蓄積量が0の人は約6.7万人です。

ここから、業念が全くない人は極少数であることが分かります。磁界エネルギー治療を受けた方は業念蓄積量0を実現できます。

この事実からも、磁界エネルギー治療の有効性をご理解頂けます。

業念蓄積量 （人・年）	人数分布 （世界全体）
1京～	0（人）
1000兆～	37（人）
100兆～	298（人）
10兆～	1885（人）
1兆～	76800（人）
1000億～	30（万人）
100億～	368（万人）
10億～	1386（万人）
1億～	178000（万人）
5000万～	318000（万人）
1～	215000（万人）
0	65876（人）

業念蓄積量が1億（人・年）未満の人は、53億人です。

全体の75%の人が、ここに位置しています。

業念蓄積量1億（人・年）未満の範囲は、健康や幸福のバロメータになります。

この範囲ならば、病気や不運の原因となる業念蓄積量が、少ない方から75%に含まれるので、重病や極端に不幸な状態にはなりにくいと判断できます。

全体の99.9%の人が、業念蓄積量100億（人・年）以下の範囲に位置しています。

これは、100億（人・年）の徳を提供すれば、99.9%の人の業念消去を実現できることを意味します。

磁界エネルギー治療では、最大で100億（人・年）の徳を提供します。

100億の数字の根拠は、99.9%の人の業念を消去できることなのです。

肉体を離れ、霊界に入る迄に業念の消去が行われるのが一般的です。

業念の消去は、病気や不幸等が実現することにより行われます。

病気とは、業念の消去過程で発生する身体の不調和状態のことなのです。

（業念は実在しません（天界以上の霊界に存在しません）。ですから、病気も実在しません（病気は天界以上の霊界（世界の原型を構成する世界）に存在しません）

高齢になると病気になる人が多いのは、身体活動停止前に業念の消去が行われるためです。

もし業念を消去しきれない場合は、身体消滅後も業念の消去を続けなければなりません。

これは霊位マイナスの世界の人々の状態です。

ですから、業念蓄積量が極端に多い人は、早めに業念を消去することが望まれます。

磁界エネルギー治療はどなたでもお申込頂けます。

将来の不幸や病気を未然に防ぎ、身体消滅後に霊位マイナスの世界へ移行することを回避するためにも、磁界エネルギー治療をご利用頂きたいと思います。

磁界エネルギー治療では無料サービスを提供中です。

無料サービスでは、治療後の業念蓄積量をお知らせします。

この機会に無料サービスで業念蓄積量を確認することをお勧めします。

お申込をお待ちしております。

(2015.1.21 午後4時 記載)

完治までに時間がかかるケース

磁界エネルギー治療では、完治するまでにある程度の時間がかかる場合があります。

- ・どの程度の時間が必要か？
- ・なぜ時間がかかるのか？

これらの疑問について、本ページで解説します。

霊位	磁気単極子エネルギー (人・年)	時間差 (年)
創造神界	10000兆	17.68
	1兆	12.68
	50億	8.85
天界-29	1億	6.38
天界-20	100万	5.18
天界-10	1万	4.18
天界-1	100	3.68
平均霊位	7	2.36
霊界3-1	0.18	0.47
基準	0	0

上表は霊位別の時間差（通常の世界と霊界（未来）の時間差）です。（再掲） 高い霊位の世界は、未来を創造しています。

時間はエネルギーであると説明しました。

世界の原型は、霊位の高い世界から低い世界に流れています。

そして、未来が現在になります。

霊位の低い世界ほど、直近の未来を構成しているのです。（霊位マイナスは除く）

霊界1・霊界2（霊位分布図 参照）の原型や業念（病気の原因となる歪んだ想念行為）は、既に当事者の構成要素として確定しているため、変更できません。

ですから、霊界1・霊界2にある業念は、消去できません。

この業念は、磁界エネルギー治療対象外となります。

霊界3の1段目と私たちの世界の時間差は、0.47年です。

ですから、霊界1、霊界2の業念が実現するのは、0.47年以内ということになります。

この間に、業念は症状として表れて消えることとなります。

磁界エネルギー治療を受けても、すぐには症状が完治しない場合があります。
その理由は、直近0.47年分の業念を消去できないためです。

0.47年は約半年です。

ですから、磁界エネルギー治療を受けてから半年経過すれば、病気の原因となる業念はすべて症状として実現して消えるため、病気は治ります。

磁界エネルギー治療を受けてすぐに症状が治るのは、0.47年より先の未来で表れるべき症状が前倒しで表れている場合です。

この業念は磁界エネルギー治療で消去可能です。

治療後は業念が無くなるため、病気は治ります。

業念の多い人（症状の重い人）ほど、前倒しで業を消去する余裕がないため、磁界エネルギー治療後も病気が完治しない傾向があります。（半年以内に治ります）

一方、業念の少ない人ほど、前倒しで業念を消去する余裕があるので、磁界エネルギー治療直後に病気が完治しやすいのです。

磁界エネルギー治療を受けても症状が完治しない場合、(最長の場合で)半年ほどお待ち頂きたいと思います。

この間に磁界エネルギー治療で消去できない業念が消えるため、病気は治ります。

よろしくお願い致します。

磁界エネルギー治療はすべての人に必要

日本人の業念蓄積量の平均値は以下になります。(把握期間 86 年)

日本人の業念蓄積量平均値・・・7705 万 (人・年)

これは、がんなどの診断を受けていない一般的な日本人でも、相当な量の業念が蓄積されていることを意味します。

霊界入りする前には高い霊界に入るため、業念を減らす必要があります。

ですから晩年になり業念蓄積量が増えると、がんなどの病気を発症することにより業念の消去が行われるのです。

(若年で発症する場合、業念蓄積量が平均よりかなり多くなっています)

日本人の業念蓄積量平均値は、がん患者の 4 分の 1 に相当します。

日本人は平均して、がん患者の 4 分の 1 程の業念を既に蓄積しているのです。

現在は病気を発症してない方でも、さらに業念を蓄積すれば、病気になる可能性がかなり高いことになります。

磁界エネルギー治療は、どなたでもお申込頂けます。

病気と診断されていない方でもお申込可能です。

磁界エネルギー治療をお申込頂いた場合、病気の原因となる業念を消去します。

すると、体が軽く感じます。

病気の原因となる業念が無くなるため、健康を長期間維持することが可能になります。

このように、磁界エネルギー治療は病気予防として極めて有効な方法です。

病気予防、健康維持のためにも、ぜひ磁界エネルギー治療をお申込頂きたいと思います。

第9章 憑依霊による病気の発生

憑依霊をご存知でしょうか。

霊位がマイナス（救済が必要な状態）で、人の体に影響を与えている霊のことです。

最近になり、難病にかかっている人が、この憑依霊の影響を受けていることが分かりました。これらの憑依霊の特徴は、自分自身が病気にかかっていると錯覚していることです。既に身体が無くなっているにもかかわらず、霊界で自分が病気にかかっていると思い込んでいるのです。

この霊の病念（病気であるという想念）の影響を受けると、人の体はその状態になることがあります。

これが、難病の原因になっているのです。

実際に病気になっている人の憑依霊の人数を確認すると、概ね50億人～100億人程です。（1人でこれだけの霊の影響を受けています）

憑依霊1人分の病念はそれほど強くはありませんが、数十億人分の病念は非常に強力です。これが、人の体に影響を与え、病気の症状を引き起こしているのです。

病名	憑依霊数 (兆人)	平均霊位 (人・年)
がん	786	23.7
認知症	178	8.3
アトピー性皮膚炎	69	6.3
花粉症	149	1.1

病気の種類と現在の人類に影響を与えている憑依霊の人数、およびその平均霊位を表形式で記載しました。4種類の病気で合計1183兆人もの霊が、現在の人類に病気の原因となる精神エネルギーの影響を与えているのです。

尚、これらの霊のほとんどは地球人類ではありません。地球人類は30～31兆人です。

これらの憑依霊は、1人で複数の人に影響を与えています。

ですから、治療対象者の憑依霊浄化を行うと、この憑依霊の影響を受けている別の人の症状も改善することになります。

磁界エネルギー治療には、このような効果もあるのです。

磁界エネルギー治療では、徳（磁界エネルギー）により、治療対象者の業念（不調和想念）を消去することにより治療を実施します。

しかし、これらの憑依霊の影響を受けている人の場合、治療を実施しても、業念が再び蓄

しかし、これらの憑依霊の影響を受けている人の場合、治療を実施しても、業念が再び蓄積されます。

この業念は本人の業念ではなく、憑依霊から送られてくる病念なのです。

この状況から完全な治療を実施するためには、憑依霊の影響を完全に除去する必要があります。

その方法は、憑依霊の霊位をプラスにすることです。(憑依霊浄化と呼びます)。
霊位をプラスにすると、憑依霊は救済されたことになり、病念を出さなくなります。
すると、治療対象者が憑依霊の病念から開放されるため、病気の症状は改善します。

憑依霊浄化の方法は、先祖供養と同じです。
先祖供養と同じ方法で数十億人の憑依霊を浄化します。
浄化に必要な徳(磁界エネルギー)は数百億(人・年)になります。
これだけの徳を提供しないと、これらの難病を完治させることができないのです。

憑依霊の平均霊位は、病気の種類ごとに異なります。全てマイナスです。
平均霊位が最も低いのががんです。マイナス23(人・年)の霊位です。
平均霊位が最も高いのは花粉症です。マイナス1(人・年)になります。

この平均霊位は、病気の治りやすさを意味します。
憑依霊の平均霊位が低いほど、霊位をプラスにするために必要な徳(磁界エネルギー)量が多くなります。

それだけ、憑依霊の救済は困難になります。

逆に、憑依霊の平均霊位が高くなると、霊位をプラスにするために必要な徳(磁界エネルギー)量が少なくなるため、憑依霊の救済は容易になります。

表中の病気の中で症状が最も重いのががんであり、最も軽いのが花粉症である理由は、原因となる憑依霊の霊位の違いなのです。

宇宙は人の意識で構成されています。
宇宙は人の意識による認識処理の結果です。
ですから、病気の原因も人の意識なのです。

「病気は実在する」という誤った想念が、病気の原因です。
数十億人の「病気は実在する」という想念は強力なので、身体に病気の症状が現れるのです。

従来、磁界エネルギー治療では憑依霊浄化は対象外でした。
しかし、難病の原因の大部分がこの憑依霊の病念であることが判明したため、
憑依霊浄化を磁界エネルギー治療(有料)に追加することにしました。

尚、本ページ発表迄に磁界エネルギー治療(有料)をお申込頂いた方で、憑依霊の影響を

受けている方については、憑依霊浄化を実施済です。

ご安心頂きたいと思います。

磁界エネルギー治療で憑依霊浄化を実施するようになってから、治療結果が極めて良好になりました。

磁界エネルギー治療は進化を続けています。

磁界エネルギー治療を知らない人ならば「これは奇跡だ」と思うであろうほどの効果を上げることが、当然になっています。

皆様のご利用をお待ちしています。

第10章 治療手順

治療手順は以下の通りになります。

1. 治療対象者の状態把握

治療対象者の状態を把握します。
具体的には、以下を確認します。

- (1) 業念蓄積量
- (2) 生命エネルギー量
- (3) 身体構成エネルギー量
- (4) 将来イメージ構成期間
- (5) 才能
- (6) 憑依霊

2. 治療実施

(1) 業念（病気の原因である歪んだ想念エネルギー）消去

徳（磁気単極子エネルギー（S極））を治療対象者に提供します。
このエネルギーは業念（磁気単極子エネルギー（N極））を消去する性質があります。
この方法で治療対象者の病気の原因である業念を消去します。

業念を消去すると、将来発生する新たな症状を未然に防ぐ効果があります。
しかし、既に体に現れている症状を消すことはできません。
身体上の症状を消すのは、治療対象者の自然治癒力です。

(2) 生命エネルギーによる自然治癒力強化

生命エネルギーは人の生命を司るエネルギーです。
このエネルギーを提供すると、身体が活性化し、自然治癒力が強化されます。
この強化された自然治癒力で、既に体に現れている症状を効果的に改善します

生命エネルギー提供期間は治療開始後1年間です。
2年目以降も生命エネルギー提供を希望される場合、輝の会会員登録をお願いします。
（輝の会会員には、無償で生命エネルギーを提供しています）

尚、生命エネルギー提供不要と判断できる場合、生命エネルギーは提供しません。

(3) 身体構成エネルギー増強

病気の症状が現れている箇所の身体構成エネルギー量は、健康な人と比べて少ないのが一般的です。

身体構成エネルギーは身体の原型を構成するエネルギーです。

このエネルギーが減少すると、身体を健康に保つことができません。

徳（磁気単極子エネルギー（S極））により身体構成エネルギーを増強し、疾病箇所の治療を促進します。

(4) 憑依霊浄化・救済

憑依霊の悪影響で病気の症状が現れている方に対しては、憑依霊浄化・救済を実施します。

憑依霊はがんや認知症、アトピー性皮膚炎、花粉症等の原因になっています。

憑依霊浄化により、完治困難と思われていたこれらの症状を完治させます。

(5) 提供する徳の量

(1) と (3) で提供する徳の量は、合計で最大10兆（人・年）です。

治療に必要な徳の量と10兆（人・年）の少ない方が、実際に提供する徳の量になります。

10兆（人・年）の徳を提供すると、99.9%以上の人の治療が可能です。

（業念蓄積量別人数分布図 参照）

治療に十分な徳の量なのです。

3. 治療後の状態報告

治療対象者の治療後の状態を、お申込者に報告します。

・報告対象項目は以下になります。

- (1) 業念蓄積量
- (2) 生命エネルギー
- (3) 身体構成エネルギー
- (4) 将来イメージ構成期間
- (5) 才能

・ 報告内容の確認方法

(1) ログイン後、左メニューの「磁界エネルギー治療」下の「治療結果画面」で、治療後の状態を確認することができます。

4. 磁界エネルギー治療関連サービス

(磁界エネルギー治療には含まれないサービス)

(1) 将来イメージ構成期間長期化 (開運でお申込頂けます)

将来イメージ構成期間を長期化すると、長期間安定した生活が可能になります。

当然運気が改善し、心身共に健康になります。

将来イメージ構成期間を長期化するためにも、開運をお申込頂きたいと思います。

(2) 才能強化 (才能強化でお申込頂けます)

病気が原因で徳不足に陥り、結果として才能が一般の人より少なくなったため、働くことができない人が大勢います。

(才能には仕事をこなす能力が当然含まれます。)

この場合、才能強化により、仕事をこなす能力をスムーズに回復することができます。

短期間で仕事に復帰できるのです。

円滑な社会復帰・就職等を実現するためにも、才能強化をお申込頂きたいと思います。

第 11 章 磁界エネルギー各論

徳は存在の原型

世界は 2 意識で構成されています。表面意識と内面意識です。

この 2 意識の相互作用で世界は構成されています。

(表面意識と内面意識の相互作用 (教義) ご参照)

世界の構造の原型は、内面意識です。

相互作用で表面意識に原型を映し出すことにより、世界は構成されています。

表面意識と内面意識はそれぞれ電界、磁界に該当します。

徳 (磁界エネルギー) は、内面意識のエネルギーです。内面意識は存在の原型ですから、徳は存在の原型を構成するエネルギーなのです。

徳 (磁界エネルギー) が増えることは、原型を構成するエネルギーが増えることを意味します。

徳のエネルギーを使用することにより、環境の原型を構築することが可能です。その結果、環境を自由自在に変えることが可能になるのです。

積徳量が増えると、能力を向上させることが可能です。自分自身の原型 (内面意識) の能力を高めればよいのです。すると、これが表面意識に映し出されることにより、高い能力を発揮することができます。

積徳量が増えると、活動量が多くなります。これは、原型 (内面意識) を構成する力が強化されるためです。内面意識の原型で活動量を増やすと、表面意識にこれが映し出されるため、活動量が増えるのです。

徳 (磁界エネルギー) の発生源は、創造神界です。

創造神界は存在の原型である内面意識のエネルギー (徳 (磁界エネルギー)) の発生源です。

万物は創造神界から発生しているのです。

輝の神 (輝の会本尊) は創造神界の神霊です。万物の発生源の神霊なのです。

ですから、磁界エネルギー治療を自由自在に行うことができるのです。

徳の供給源の種類とはたらき (開運による徳は人や社会を支える力)

人生に影響を与える徳 (磁界エネルギー) の供給源には種類があります。

この徳の種類について説明します。(表 1 ご参照)

(表1：徳の供給源の種類とはたらき)

徳の供給源の種類	内容
本人の徳	本人（個人）の徳。輝の会の開運では、この徳を増やします。
他者から本人に提供される徳	
輝の会が提供する徳	輝の会は全ての人に徳を常時提供しています。
家の徳	家族の徳、先祖の徳があります。 家族の徳・・・家族を支えるために、徳の多い人が徳を家族に分け与える場合があります。 先祖の徳・・・先祖が子孫の繁栄を願う場合、先祖が蓄積した徳を子孫に与える場合があります。
会社の徳	会社は一体になって事業を営みます。 社員が互いに支え合う際、徳の多い社員から少ない社員に徳が流れる場合があります。 これで業績を分け合うことが可能になるのです。
国家の徳	国家は国民が一体になって社会生活を営む単位です。国家の徳は国民の徳全体です。国家全体の徳が個人に影響を与えるのです。
人類の徳	人類全体の徳が個人に影響を与えます。
善意の人の徳	本人に善意のある人が、その徳で本人を支える場合があります。
神霊の徳	指導神霊の徳は指導対象者に影響を与えます。また、天界入りした先祖が、徳を子孫に提供する場合があります。

徳の供給源には大別して本人の徳と、他者から本人に提供される徳の2種類があります。他者から提供される徳には、家の徳、会社の徳、国家の徳、人類の徳、善意の人の徳、神霊の徳があります。(内容は表1を参照願います)

積徳量分布図(教義)は、本人の徳のみを対象として作成しました。

企業別積徳量一覧(教義)は、会社の徳を対象としています。

国家別積徳量一覧(教義)は、国家の徳を対象としています。

人生はこれらの徳の影響により構成されます。

本人の徳だけで運気が決まるわけではありません。他者から提供される徳の影響を考慮しないと、人の活動量と徳の関係を正しく理解することができないのです。

積徳による開運をお申込頂くと、徳を提供致します。

これは開運お申込者ご本人の徳になります。

開運お申込者の徳が増えると、ご本人の意思で自由に徳を使用することが可能です。

家族の徳として、ご家族を支えるために使用することができます。

会社の徳として、会社を支えるために使用することも可能です。

国家や人類の徳として、国家や人類のために使用することもできます。

善意の人の徳として、特定の人をサポートするために使用することも可能なのです。

徳の使い方は、ご本人の意思で決まります。

徳は磁界エネルギー（内面意識のエネルギー）です。

心のエネルギーですから、ご本人の意思で自由に使い方を決めることができます。

積徳による開運を行うと、お申込者の徳が増えます。これはお申込者が周囲の人々を徳のエネルギーで自由にサポートできることを意味します。

このように、開運はお申込者のみならず、周囲の人々をも幸せにします。

（ホームページにてお申込受付中です）。

徳（磁界エネルギー）のはたらき

（表2：徳（磁界エネルギー）のはたらき）

徳のはたらき （存在の原型）	徳が 不足した場合の現象	徳（磁界エネルギー） の効果	No.
自分が使用			
肉体を構成	肉体機能の衰え （病的症状等）	肉体機能改善	1
将来イメージ構成	将来イメージ短期化 人生不安定化	将来イメージ長期化 人生安定化	1-2
才能を構成	才能劣化、能力低下	才能強化、能力向上	2
人間関係を構成	人間関係悪化	人間関係改善	3
肉体の活動エネルギー	活動量減少、不活発	活動量増加、活発	4
指導神霊霊位決定	指導神霊霊位低下	指導神霊霊位向上	5
他者が使用			
社会的評価	社会的評価低下	社会的評価向上	6
魅力	魅力低下、人気低落	魅力向上、人気回復	7
組織で使用			
組織を構成	組織不安定、解体	組織の安定、発展	8
組織の活動エネルギー	組織不活発、業績悪化	組織活性化、業績向上	9

徳（磁界エネルギー）のはたらきを一覧表形式でまとめました。

徳（磁界エネルギー）の効果はNo.1～9に大別することができます。

このNo.別に、徳（磁界エネルギー）の効果をまとめました。（表3ご参照）

(表3：徳(磁界エネルギー)の効果)

No.1 肉体機能改善	
健康	<p>体の原型は徳(磁界エネルギー)で構成されています。</p> <p>徳が不足すると、体が不調和な状態になります。これが病気と呼ばれる症状です。</p> <p>徳(磁界エネルギー)の不足が、病気の根本的な原因なのです。</p> <p>(磁界エネルギー不足が病気の根本原因 参照) 積徳量が減少すればするほど、より肉体が弱くなり、ケガ・病気にかかりやすくなります。</p> <p>輝の会からの磁界エネルギー提供方法は、以前は開運のみでしたが、新たな提供方法として磁界エネルギー治療法を開始しました。</p> <p>磁界エネルギー治療法により積徳量をプラスにすると、病気の症状を改善し、健康な生活を維持できるようになります。</p> <p>(磁界エネルギーによるがん治療 磁界エネルギーによる病気治療(教義) 参照)</p>
統合失調症の症状改善	<p>統合失調症の幻覚・幻聴等の症状は、業念(誤った想念・行為)の消去過程として発生します。徳(磁界エネルギー)は調和のエネルギーなので、業を消去します。</p> <p>開運で徳を増やすと業が減少するため、症状は改善します。</p> <p>統合失調症が直りにくい理由は、業念の量が極めて多いためです。</p> <p>業念の消去に時間がかかるため、長期間症状が続くのです。</p> <p>輝の会の磁界エネルギー治療法では、他の宗教よりもはるかに多くの磁界エネルギーを提供します。その結果、短期間で症状を大幅に改善することが可能なのです。</p> <p>(他者・環境へ与える影響は自分自身に記録される 磁界エネルギーによる病気治療(教義) 参照)</p>
若返り	<p>徳(磁界エネルギー)は生命力です。</p> <p>積徳量がプラスになると、細胞が活性化され、肉体が若々しくなる傾向にあります。また、周囲に光を放射するため、人々にプラスの印象を与えます。</p> <p>プラスの評価と光の放射は表裏一体の関係にあるのです。</p> <p>(日本人のオーラは輝の会のオーラ(教義) 参照)</p>
No.1-2 将来イメージ長期化、人生安定化	
人生安定化	<p>未来の人生は徳(磁気単極子エネルギー)で構成されています。</p> <p>この未来の人生が「将来イメージ」、未来の人生が構成されている期間が「将来イメージ構成期間」です。</p> <p>将来イメージ構成期間は人生の大枠が確定しているため、人生が安定します。</p>
No.2 才能強化、能力向上	
才能の開花	<p>才能は徳(磁界エネルギー)で構成されています。</p> <p>才能は個性と見なすことができます。</p>

		<p>歩くことも才能です。人の活動は才能を通じて行われているのです。ですから、才能は豊かな人生に欠かせません。</p> <p>徳が増えると、才能を構成するエネルギーが増えるため、才能を向上させることが容易になります。</p> <p>高度な才能ほど、より多くの徳で構成されています。</p> <p>釈迦の悟りは1億（人・年）を超える徳で構成されています。</p> <p>開運により徳を積み増すと、才能を容易に向上させることが可能になります。</p>
	頭脳明晰	<p>理解力も徳（磁界エネルギー）で構成されています。</p> <p>徳（磁界エネルギー）が増えると、より多くの徳を理解力構成のために使うことができるため、理解度の向上が速くなります。その結果、学術的な新発見等を行うことも可能になります。</p> <p>徳が増えるほど、高度な才能を発揮することができるのです。</p> <p>（開運は受験対策に最適（教義） ご参照）</p>
No.3 人間関係改善		
	恋愛成就	<p>徳（磁界エネルギー）は心をつなげるエネルギーです。</p> <p>恋愛には男女の心をつながりが必要です。恋愛とは、男女が心で互いに支えあっている状態なのです。</p> <p>徳を相手に提供することが、心をつながりを持つための方法です。</p> <p>徳が増えると、心をつなげるエネルギーが増えるため、恋愛を成就することが可能になります。</p> <p>積徳による開運は、恋愛成就に最善の方法なのです。</p>
	結婚に有利	<p>結婚は人生の安定・発展のために存在します。</p> <p>人生の安定・発展のために必要なのが、徳（磁界エネルギー）です。</p> <p>徳の多い人は、周囲の人々に安心感を与えます。徳は調和のエネルギーです。</p> <p>徳の多い人がいると、環境が調和します。ですから、人々は安心するのです。</p> <p>徳の多い人は、周囲の人々を安心させることができるので、結婚相手として選ばれる可能性が極めて高くなります。</p> <p>開運で徳を積むと、結婚活動を有利に進めることができるのです。</p>
	結婚生活の安定	<p>全離婚ケースの約3分の1では、夫婦どちらか一方の積徳量がマイナスです。</p> <p>全離婚ケースの約3分の2では、夫婦両名の積徳量がマイナスです。</p> <p>夫婦両名の積徳量がプラスの場合、離婚することはほとんどありません。</p> <p>積徳量がマイナスになると、離婚の危険性が急激に高くなります。</p> <p>安定した結婚生活を送るためには、積徳が極めて重要です。</p> <p>積徳による開運は、結婚生活の安定のために極めて効果的なのです。</p>
No.4 活動量増加、活発		
	活動量の増加	<p>徳（磁界エネルギー）は活動の根本的なエネルギーです。</p> <p>人の（頭脳的・肉体的）活動量を規定するエネルギー量なのです。</p>

	徳（磁界エネルギー）が増えれば、それだけ積極的な明るい人生を送ることができるようになります。
成功	成功には徳（磁界エネルギー）が欠かせません。成功すると、必ず徳が減少します。 逆に、徳（磁界エネルギー）が無い人はなかなか成功できません。 開運により、徳光が増加すれば、それだけ成功する機会に恵まれることになります。
スポーツの強化	スポーツ選手にとっても、徳（磁界エネルギー）は重要です。 選手の活動エネルギーなのです。 どんなに優秀な自動車でも、ガソリンや電気がなければ走りません。同様に、どんなに優秀で、トレーニングを積んだ選手といえども、徳（磁界エネルギー）が不十分だと十分な成績を収めることができないのです。積徳を行えば、復活への近道となるのです。
No.5 指導神霊霊位向上	
指導神霊による人気回復	全ての人は指導神霊に導かれています。 指導神霊のオーラ（雰囲気）が、指導対象者のオーラになります。 芸能人等のオーラは、指導神霊のオーラなのです。 開運により積徳量が増えると、指導神霊が霊位の高い方に交代します。すると、芸能人等のオーラが、高貴で魅力的な雰囲気になります。その結果、より人気者になることができます。 逆に積徳量が減少すると、指導神霊が霊位の低い方に交代します。すると、芸能人等のオーラが弱くなります。魅力が低下するのです。すると、人気は低下します。 人気者が時間の経過と共に忘れられていく場合、その原因は徳の減少及び指導神霊の霊位低下なのです。 開運で徳光の蓄積を行えば、霊位の高い指導神霊に導かれるため、再び人気を確保することが可能となります。
組織の発展	一般に、組織の中心人物の指導神霊が、その組織の指導神霊になります。 積徳により組織の中心人物の積徳量が増えると、指導神霊が霊位の高い方に交代します。すると、組織の指導神霊の霊位が上がるため、組織の社会的序列が向上します。組織がより発展するのです。
視聴率向上	テレビ番組は指導神霊のオーラ（磁界エネルギー）に包まれています。指導神霊の霊位が上がると、オーラが強くなります。 オーラが強くなると、番組に魅力を感じるようになります。 その結果、視聴率が高くなります。 また、番組出演者の積徳量が増えると、魅力が強化されます。これも視聴率向上につながります。 開運による積徳は、番組関係者の積徳（指導神霊の霊位向上理由）や出演者の積徳につながるため、視聴率向上に極めて効果的なのです。

	(開運による高視聴率獲得 (教義) ご参照)
No.6 社会的評価向上	
出世	完全に調和した社会では、序列は霊位順となります。 指導神霊と指導対象者は一体になるため、指導神霊の霊位が対象者の社会的序列に影響を与えます。 霊位の高い神霊の方が能力が高いため、積徳により指導神霊の霊位が高くなると、仕事の成果がより高度になります。 その結果、評価が高くなり、出世しやすくなるのです。
No.7 魅力向上、人気回復	
魅力アップ	魅力は、徳を提供することの対価として与えられます。 魅力的な人は、その魅力の分だけ徳を消費しているのです。 徳を提供できなくなると、魅力を感じさせることはできなくなります。 開運により徳を積み増すと、消費できる徳が増えるため、より多くの魅力を発揮することが可能になります。(徳と魅力の関係 ご参照) 積徳による開運は、魅力アップに極めて効果的なのです。
人気向上	人気のある人は魅力的な人です。 魅力は徳提供の対価です。(徳と魅力の関係 (教義) ご参照) ですから、人気の源泉も徳なのです。 積徳量が増えると、人気も向上します。
視聴率向上	No.5 指導神霊霊位向上 ご参照。
No.8 組織の安定、発展	
組織の安定・発展	開運により積徳量が増えると、組織の存在を構成するエネルギーが増えるため、国家・会社・家庭等は安定し、発展します。 (天皇家による日本の繁栄 国家別積徳量一覧 企業別積徳量一覧 (教義) ご参照)
No.9 経済活動の活性化	
経済活動の活性化	経済活動と、徳 (磁界エネルギー) には相関関係があります。国家全体の徳が増えると、経済活動は活性化します。逆に、徳が減少すると、経済は停滞します。日本人の積徳量、活動量 (徳 (磁界エネルギー) 消費量) を一覧表にまとめました。(天皇家による日本の繁栄 ご参照) 失われた20年とは、日本人の積徳量がマイナスの時代だったのです。 徳を失うと、国家の活動量が減少し、景気も悪化するのです。 積徳を行うと、各種活動が活発になり、国家は発展します。

以上の説明でお分かり頂ける通り、磁界エネルギー治療は体を健康にすることだけが目的ではありません。その他にも様々な効果があります。

磁界エネルギー治療で余った徳は、これらの様々な目的に転用することができます。

ですから、磁界エネルギー治療で提供する徳が多すぎるということは決してありません。

また、磁界エネルギー治療責任者（滝沢輝）は、徳（磁界エネルギー）の効果 No.1～No.9 を全て実践し、効果を確認済です。

ですからご安心の上、磁界エネルギー治療をお申込頂きたいと思えます。

人の命と徳の関係

(表 4 : 人の命と徳の関係)

項目	徳の量 (人・年)	内容
人の生命維持 (生涯分)	2742 兆	人の生命を一生維持するために必要な徳（平均）。 (生命エネルギーを増幅した結果)
人の生命維持 1 年分 (18 歳前後)	42.19 兆	18 歳前後の人の生命を 1 年間維持するために必要な徳。 (生命エネルギーを増幅した結果)
身体構成エネルギー	4816 万	身体の原型を構成する徳。 日本人男性平均。女性は 4592 万。
才能	5786 万	才能を構成する徳。日本人の全才能の平均。
日本人の業念消去	7705 万	日本人の平均業念蓄積量（1 人分）消去に必要な徳。 この業念が各種病気の原因となっています。

(表 4～表 6) は徳のはたらきを数値化したものです。

人の生命を 1 年間維持するために必要な徳は、42.19 兆 (人・年) です。

人の生命を維持する生命エネルギーは、天（創造神）から 1 年間で 1 (人・年) 提供されます。(18 歳前後の人の平均)

この生命エネルギーは、創造神の宇宙大の意識により増幅されます。

42 兆 (人・年) まで増幅されます。42 兆倍されるのです。

この 42 兆は、細胞の数を意味します。

生命エネルギーが細胞数倍され、人の身体活動が維持されるのです。

人は平均して、生涯で 65 (人・年) の生命エネルギーを与えられます。

これは上記の増幅を考慮すると、2742 兆 (人・年) になります。

これが、人の生涯の生命維持に必要な徳になります。

尚、輝の会では長寿サービスで年間 42 兆 (人・年) の生命維持に必要な徳を会員に無償提供しています。

身体構成エネルギーは、人の身体の原型情報を構成する徳です。

男性平均で 4816 万 (人・年)、女性平均で 4592 万 (人・年) になります。

将来イメージは、人の未来（将来）を構成する徳です。
 将来イメージが構成されると、人生が安定します。
 未来をイメージしながら生活できるので、ぶれない人生を送ることができます。

才能は天（創造神）から与えられています。
 才能は徳で構成されているのです。
 日本人の全才能合計は、平均で5786万（人・年）です。
 優秀な人ほど、全才能合計も大きくなります。
 積徳を行うと、才能として使用することができます。すると、才能が高くなるため、より高度な仕事を行うことが可能となります。

歪んだ想念行為は発信者に蓄積されます。これが業念です。
 日本人に蓄積されている業念は平均で7705万（人・年）です。
 これはがん患者の平均業念蓄積量の4分の1程になります。
 業念は病気の原因となるのです。
 尚、業念の主な原因は、哺乳類の肉食です。

お金と徳の関係

(表5：お金と徳の関係)

項目	徳の量 (人・年)	内容
10万円受領	7780	新規受領の場合。保有により消費する徳は対象外。 保有する場合に消費する徳は下記ご参照。
10万円を10年保有	708	お金の長期保有は莫大な失徳行為です。 失徳量は保有期間が長くなると急増します。 (保有期間の指数関数になります) 10万円の30年保有による失徳量は、10万円の新規受領による失徳量より多くなります。お金の新規受領より、30年保有の方が価値が大きいのです。
10万円を20年保有	2960	
10万円を30年保有	13300	
10万円を40年保有	4870	

※金額と徳の関係は、2015年1月時点。
 (お金の価値は時間と共に変化します)

お金や、社会的に評価の高い資格等を獲得すると、その評価に相当するだけの徳(磁界エネルギー)を失います。

10万円を受領すると、7780（人・年）の徳を失います。
 この10万円を10年間保有すると、708（人・年）の徳を失います。
 お金の保有により失う徳の量は、保有期間に比例しません。
 保有期間が長くなるほど、失う徳の量は急増します。

お金の保有により失う徳の量は、保有期間の指数関数になります。

(詳細は フラクタル経済理論第1巻の フラクタルによる動的貨幣総額算出
Y (t) 算出シミュレーション ご参照)

10万円の30年保有で失う徳の量は13300(人・年)です。

これは10万円の新規受領で失う7780(人・年)を上回ります。

これはお金をもらうより、30年間保有する方が価値が大きいことを意味します。

(2015.1.29 午後6時 数値更新)

社会的評価と徳の関係

(表6：社会的評価と徳の関係)

項目	徳の量 兆(人・年)	内容
五輪金メダル	1.76	獲得、合格、当選等により消費する徳の量です。 魅力(人気)、才能により消費する徳は含まれていません。
五輪銀メダル	0.96	
司法試験合格	0.26	
内閣総理大臣	3.47	
衆議院議員当選	0.51	
参議院議員当選	0.41	

オリンピックで金メダルを獲得すると、1.76兆(人・年)の徳を消費します。

徳の蓄積量が1.76(人・年)未満の選手が金メダルを獲得する場合、不足分は家の徳などで補われます。

実際には、更に徳の多い選手が金メダルを獲得する可能性が高いのです。ですから、1.76(人・年)の徳を選手が保有していないと、金メダルを獲得するのは困難ということになります。

表に記載されている1.76兆(人・年)は、メダル取得により失う徳の量です。オリンピックに出場するためには様々な大会で優秀な成績を収める必要があります。その成績を獲得するためにも徳が必要です。両方合わせると、表よりもかなり多くの徳が必要ということになります。

社会的な価値を獲得すると、その価値に匹敵するだけの徳を必ず失います。ですから、社会的な価値の獲得を目標にする場合、その価値に見合うだけの徳を保有する必要があります。そうしないと、価値を得るのは困難なのです。

徳の量(積徳量)を増やすと、お金を受領したり様々な社会的価値を受けて徳を消費しても、積徳量はマイナスになりません。これは、徳を積み増すことによりお金や社会的な価値

を得る可能性が高くなることを意味しています。

(2015.1.29 午後6時 数値更新)

(表2：徳(磁界エネルギー)のはたらき)(再掲)

徳のはたらき (存在の原型)	徳が 不足した場合の現象	徳(磁界エネルギー) の効果	No.
自分が使用			
肉体を構成	肉体機能の衰え (病的症状等)	肉体機能改善	1
将来イメージ構成	将来イメージ短期化 人生不安定化	将来イメージ長期化 人生安定化	1-2
才能を構成	才能劣化、能力低下	才能強化、能力向上	2
人間関係を構成	人間関係悪化	人間関係改善	3
肉体の活動エネルギー	活動量減少、不活発	活動量増加、活発	4
指導神霊霊位決定	指導神霊霊位低下	指導神霊霊位向上	5
他者が使用			
社会的評価	社会的評価低下	社会的評価向上	6
魅力	魅力低下、人気低落	魅力向上、人気回復	7
組織で使用			
組織を構成	組織不安定、解体	組織の安定、発展	8
組織の活動エネルギー	組織不活発、業績悪化	組織活性化、業績向上	9

積徳量が不十分なまま社会的な評価を受け続けると、積徳量が大幅なマイナスになります。その際、(表2)の「徳が不足した場合の現象」が起こります。

これは、社会的評価を受けすぎることが、磁界エネルギーの過度の消費につながり、肉体や環境を構成する原型を破壊することを意味しています。

その結果、病的な症状が現れたり、環境悪化等が起こる場合があります。

磁界エネルギー治療は、このように磁界エネルギー(徳)の不足による体の機能低下や病的症状に極めて効果的です。

磁界エネルギー(徳)の提供により、体の原型情報が調和します。

その結果、体の機能が回復するのです。

また、体の不調和以外の症状に対しても、磁界エネルギー治療は効果的です。

(表2)のNo.1-2、No.2以外の全ての「徳が不足した場合の現象」について、磁界エネルギー治療は効果を発揮します。

(No.1-2 に対しては「開運」、No.2 に対しては「才能強化」お申込で、徳を増やすことが可能です。)

お申込をお待ちしております。

人の命はお金では買えない

(表1) の (人の命を司る徳) と (表2) の (お金と徳の関係) を比較すると、1の方が圧倒的に数字が大きくなっています。

これはお金より命の方がはるかに価値が大きいことを意味しています。

人は生命を創造できません。これは、人の労働価値が人の命の価値に及ばないことを意味します。(創造神(輝の神(輝の会本尊)を含む)は生命エネルギーを創造できます)

人の生命維持(生涯分)に必要な徳は2742兆〔人・年〕です。(表1)

これを金額換算します。

10万円受領で7780(人・年)になるので、これを使用します。(表2)

$$2742 \div 7780 = 0.352$$

2742は兆単位、7780(人・年)は10万円に相当することを勘案すると、

人の生命維持(生涯分)の価値は(3.8 × 10¹⁶乗)円となります。

これは日本の国家予算(1年間)の100倍以上になります。

人の一生涯の命を金額換算すると、国家予算の100倍以上となるのです。

これは、人の命はお金で買うことができないことを意味します。

輝の会では会員に無料で長寿サービスを提供しています。

長寿サービスは、生命維持用の徳(年間42兆(人・年))を提供するサービスです。

輝の会会員は莫大な徳の無償提供を受けることが出来るのです。

(2015.1.29 午後6時 数値更新)

莫大な磁界エネルギーを提供できる理由

輝の神（磁界エネルギー治療実施者：滝沢輝の内面意識（靈的意識））は、創造神界に到達しています。

創造神界は人の生命を司ることができる神霊の世界です。

創造神界はキリスト教や仏教の最高指導神霊をはるかに超える霊位です。

また、輝の会では、磁界エネルギーの生成方法を理論的に解明しているため、

磁界エネルギーを大量に生成することができます。

磁界エネルギー生成方法の詳細については 磁界エネルギー生成方法（輝の会教義）を参照願います。

磁界エネルギー生成で使用する4重円構造は、宇宙の基本構造です。

全ての存在は、この構造で構成されているのです。

4重円構造の形状にオーラを放射すると、物質の形状が安定します。

宇宙全体も安定します。地球や人の肉体も調和します。

その結果、地震や台風等のエネルギーを消去することが可能です。また、各種の病気の原因が消去されるため、病気が減少し、健康な人が増えます。その結果、長寿が実現します。

社会全体が調和するため、他にも様々なメリットがあるのです。

このように、4重円構造の形状にオーラを放射すると社会に多大な貢献ができるため、莫大な徳（磁界エネルギー）を蓄積することが可能です。

この徳を磁界エネルギー治療お申込者に提供することにより、磁界エネルギー治療を実施します。

以上の理由で、十分な徳（磁界エネルギー）をどなたにでも提供することが可能なのです。

磁界エネルギー治療は遠隔で行うのが当然

磁界エネルギー治療をお申込頂く場合、輝の会にご来場頂く必要はありません。

輝の会から遠隔で磁界エネルギー治療を提供させていただきます。

お申込者がどこにおられても、磁界エネルギー治療を提供することが可能です。

この説明で、不安に思う方がいらっしゃるかもしれません。

「本当に遠隔で治療を行う事ができるのだろうか？」

「他の宗教では、本殿で宗教的な活動（祈祷等）を行っている。本殿に出かけることもなく病気治療を行えるとは思えない。」等々。

しかし、このような心配はご無用です。

周囲の空間と肉体はつながっています。

(本文「医学で治療できない病気が多い理由」ご参照)

お申込者の体と宇宙も当然つながっています。

また、磁界エネルギー治療実施責任者（輝の会会長：滝沢輝）の体も宇宙につながっています。

全ての人の体は、宇宙を介してつながっているのです。

ですから、磁界エネルギーをお申込者にお送りすることは可能なのです。

磁界エネルギー治療実施責任者（輝の会会長：滝沢輝）は、他のサービスである「開運」や「先祖供養」等により、お申込者に的確に磁界エネルギーを送る経験が豊富です。

ですから、磁界エネルギー治療を的確に行うことができるのです。

もし宗教団体の本殿でなければ宗教的なサービスを提供できないならば、本殿から出た後はその効果がなくなるはずですが、日常生活で宗教的なサービスのメリットを享受することはできないはずですが。

日常生活で宗教的なサービスのメリットを受けることができるのは、本殿以外でもこれらの影響を受けているからなのです。

多くの宗教団体が本殿等で宗教的なサービスを行う理由は、お申込みを受ける宗教家と、宗教的なサービスを提供する神霊が別々だからです。宗教家がサービスを提供することができないため、宗教団体の指導神霊がサービスを提供しているのです。

指導神霊はその際、宗教家から宗教サービスの依頼を受けるためのルールを、宗教儀式等の形で宗教家に義務付けています。

宗教家がこの義務を履行するために、宗教サービスのお申込者に本殿等へ来ることを義務づけているのです。

このように、宗教サービスで本殿等に出向くのは、あくまで宗教儀式なのです。

宗教の指導神霊は、申込者が本殿に行かなくても、開運を行うことはできるのです。

輝の神は創造神界の神霊です。他の宗教の指導神霊（天界の神霊）をさらに指導する立場です。ですから、磁界エネルギー治療は、他宗教よりはるかに強力です。

ぜひご安心の上、磁界エネルギー治療をお申込頂きたいと思います。

第 12 章 磁界エネルギー治療による完治例

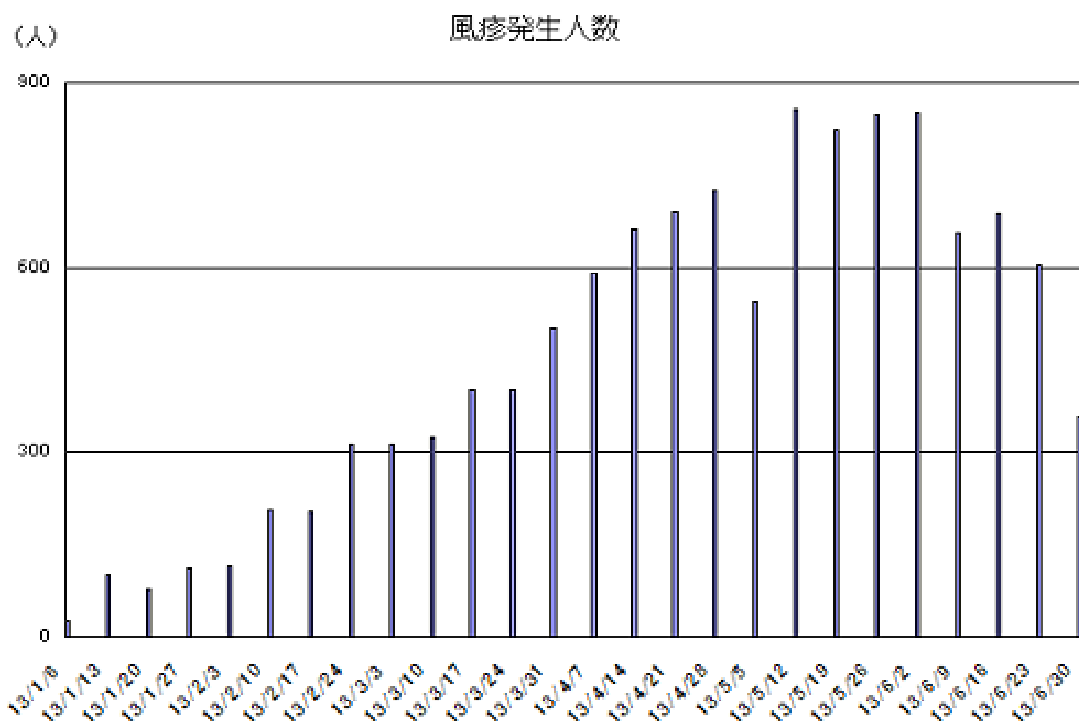
風疹除去に成功した磁界エネルギー治療

今年は風疹が流行しています。

しかし、ピークは超えました。

6月24日～6月30日の1週間の新規風疹患者数が359人となり、前週まで10週間（ゴールデンウィークを除く）続いていた週600人以上から大幅に減少したためです。

（国立感染症研究所発表）



しかし、なぜ風疹患者数が突然減少したのでしょうか。

その理由は、滝沢（輝の会会長）による風疹除去です。

病気の原因は、業念（人の不調和な想念・行為）です。

病気が流行する場合、その原因となる業念が大量に蓄積されています。

その消去過程として病気が流行するのです。

ですから、病気の流行を止めるためには、この業念を消去すればよいのです。

6月23日時点で、日本の風疹流行の原因となる業念は、5.7億（人・年）程でした。

台風発生原因の業念とほぼ同程度のエネルギー量になります。

（台風3号の完全除去に成功（教義）ご参照）

この業念を徳（磁気単極子エネルギー）を使い全て消去しました。（6月23日のことです）
ですから、風疹の原因となる業念消去後の風疹患者数（6月24日～6月30日）激減の報告は、予想通りでした。

病気が流行した時に、その原因となる業念を消去して流行を抑えるのは、今回が初めてではありません。

毎年冬になるとインフルエンザが流行します。

その都度原因となる業念を消去し、流行を抑える働きをしています。

このように、病気の流行を阻止することは、滝沢にとっては当たり前の作業なのです。

病気は実在しません。

天界以上の世界（世界の原型を構成する世界）には、病気は存在しないのです。

病気は発生するのは、天界未満の世界で、人が不調和な想念を発したり、不調和な行為を行うためです。

世界は人の意識で構成されています。不調和な想念は不調和な状況の原因となります。

その結果、本来実在しない病気が現れてくるのです。

しかし、徳（磁気単極子エネルギー（S極））により不調和な想念（磁気単極子エネルギー（N極））を消去すれば、病気の原因は無くなります。その結果、病気は消去されます。

磁界エネルギー治療では、がんや統合失調症等の難病の治療を受け付けています。

しかし、磁界エネルギー治療はこれらの病気以外の病気にも治療効果があります。

風疹に効果があることは、今回の報告でご理解頂けると思います。

また、磁界エネルギー治療は、個人に対してだけでなく、広く社会全体に流行する病気に対しても治療効果があります。

今回の風疹患者減少は、その一例に過ぎません。

このように、輝の会の磁界エネルギー治療は様々な病気治療に極めて効果的です。

皆様のお申込をお待ちしております。

樹木希林さんのがんを消去した磁界エネルギー治療

樹木希林さんは2013年3月8日の日本アカデミー賞で最優秀主演女優賞を受賞しました。
そして、「全身がんなので、翌年の日本アカデミー賞の司会は確約できない」と告白しました。

このことを聞き、ぜひ樹木さんに司会を務めて頂きたいと思い、磁界エネルギー治療を実

施しました。(樹木さんの依頼はありません。奉仕活動です。)

磁界エネルギー治療では、対象者の業念(病気の原因である不調和想念エネルギー)蓄積量を把握し、その消去に必要な徳(磁界エネルギー)を提供します。

その結果、業念が消え、がんも治ります。

しかし、業念の発信源は治療対象者とは限りません。

憑依霊(霊位マイナスの霊)が放つ不調和想念ががんの原因(業念)になっている場合が極めて多いのです。

樹木さんの場合、2013年11月5日時点で88億人の憑依霊の影響を受けていました。

(憑依霊の大部分は、地球人類以外の人々です。)

その浄化には、476億(人・年)の徳が必要でした。

これだけの徳を憑依霊に提供すると、憑依霊の霊位がプラスになります。

その結果、憑依は解消されます。がんも治ることになります。

磁界エネルギー治療は進化し続けています。

治療を行うと、徳が蓄積されます。

治療実績が多くなると、それだけ多くの徳が蓄積されます。

徳が多くなると、新たな治療法を発見することができるのです。

磁界エネルギー治療では、憑依霊の影響を受けている人に対しては、憑依霊浄化を必ず行っています。

今までに治療をお申込頂いた方で憑依霊の影響を受けていた人に対しては、憑依霊浄化を完了しています。

ご安心頂きたいと思います。

樹木さんに対しても、憑依霊浄化を実施しました。

完了したのは、2013年12月中旬です。

尚、本人が原因の業念はそれ以前に消去しました。

がんの原因が完全に無くなったため、樹木さんのがんが消えたとの報道が行われています。

(樹木希林、がんの一部消滅?「医学の進歩はすごい」)

がんが消えた本当の理由は、磁界エネルギー治療による憑依霊完全救済です。

憑依霊完全救済により業念完全消去が実現したため、がんが消えたのです。

磁界エネルギー治療では、がんなどの難病の真の原因である憑依霊の完全救済を実施します。

その結果、従来の治療法では考えられないほどの効果を発揮します。

世界は人の意識で構成されています。(5次元理論 ご参照)
ですから、病気の原因も人の意識なのです。
病気があるという誤った想念が、病気の真の原因です。
霊位マイナスの多くの人が「病気がある」という想念を放つと、莫大なエネルギーになって私たちの体に病気をつくることがあります。
これが、憑依霊によりがんが発生する理由です。

がんの原因は業念です。
本人が原因の業念と憑依霊が原因の業念があります。
磁界エネルギー治療では、どちらの業念も消去します。
極めて効果的な治療法なのです。

お申込をお待ちしています。

甘利明大臣のがんを完治させた磁界エネルギー治療

甘利明経済再生・TPP担当相は2013年12月5日に緊急記者会見を行い、「早期の舌がん」であることを明らかにしました。

その後手術を行い、12月26日の閣議から職務に復帰しました。

最近ではTPPで精力的にアメリカと交渉を行うなど、がんの治療を行ったばかりとは思えないほど元気に活躍されています。

なぜ甘利大臣はこれほど元気になったのでしょうか。

実は、甘利大臣に対して磁界エネルギー治療を実施しました。(奉仕活動です)
がんの原因である業念の消去や体力をつけるための積徳、及びがんの原因である憑依霊の浄化・救済を行いました。

がんが再発する最大の理由は、原因である憑依霊の悪影響を、医学では全く除去することができないためです。

手術して患部を除去しても、憑依霊の悪影響は続くため、症状が再発するのです。

甘利大臣は、がんであることを表明した時点で、87億人ほどの憑依霊の影響を受けていました。

医学的な処置だけでは、この憑依霊が放つ病念(がんであるという想念)の影響を受け続けるため、体力を十分に回復させることは困難です。

今回の磁界エネルギー治療では、12月上旬～1月下旬の間に、この憑依霊の救済を実施し

ました。その結果、憑依霊の悪影響を完全に消去することに成功しました。

これが、甘利大臣が精力的に仕事をこなすことができる最大の理由なのです。

磁界エネルギー治療の最大の特徴は、難病の真の原因である憑依霊の影響を完全に除去することにより、難病を根治することが可能なことです。

逆に現在の医学では、がんなどの難病を根治することは不可能です。
憑依霊の影響を除去できないためです。

磁界エネルギー治療では無料サービスを実施しています。
お申込をお待ちしております。

麻美ゆまさんを完全復帰に導いた磁界エネルギー治療

タレントの麻美ゆまさんは、2013年2月に卵巣に境界悪性腫瘍が見つかり、卵巣と子宮を全て摘出しました。

その後、抗がん剤治療を2013年8月まで継続しました。

2013年6月、麻美さんはツイッターを通じて抗がん剤治療を受けていることを報告しました。

そのマスコミ報道を聞いたので、麻美さんを救済するため、磁界エネルギー治療を開始しました。(奉仕活動です)

2. 5億(人・年)の磁界エネルギー(徳)を提供し、がんの原因となる業念消去や体力を強化する積徳を実施しました。

また、2013年11月以降は、麻美さんのがんの原因であった憑依霊69億人程の救済を開始しました。

この救済は1月中旬迄に完了しました。

このように、医学では対応できない憑依霊の悪影響除去や業念消去を実施した結果、麻美さんは極めて元気になりました。

磁界エネルギー治療の特徴は、がんの原因である憑依霊や業念の悪影響を完全に除去することです。

これは医学では対応できません。

ですから、がんを医学で治療しただけでは、完全な健康状態には戻りません。

しかし、磁界エネルギー治療を実施した人は、原因が完全に除去されるため、がんを経験した人とは思えないほど、十分に健康を回復することができます。

お申込をお待ちしております。

宮迫博之さん ～胃がんからの完全復活

雨上がり決死隊の宮迫博之さんは、2012年12月7日に胃がん摘出手術を受けました。

しかし、手術後の回復が非常に早く、12月29日には「アメトーク」の収録で仕事復帰を果たしました。

宮迫さんがこれほど早期に胃がんから回復できたのは、輝の会の磁界エネルギー治療を受けたためです。

宮迫さんが胃がんを患っていることを報道で知ったため、12月5日に磁界エネルギー治療を実施しました。(奉仕活動です)

500万(人・年)の磁界エネルギーを宮迫さんに提供しました。その結果、がんの原因となっている業念を完全に消去することに成功したのです。

この時点で、がんの原因は消滅していたため、摘出手術をしなくても、がんは自然に治癒したと思われま

す。体の細胞はある周期で新しい細胞に入れ替わります。当然胃の細胞も新しい細胞に替わります。その際、がんも消えたはずなのです。

宮迫さんはこの事実をご存じなかったため、胃の摘出手術が必要だったと思われるかもしれません。

手術後の回復が非常に早かったのは、生命エネルギーを提供したためです。

生命エネルギーは、人の生命を司るエネルギーです。

このエネルギーは、人の生理的な活動を活発にします。

生命エネルギーの提供により、短期間で体力を回復することができたのです。

宮迫さんの復帰は、大勢のがん患者に勇気を与えたと思われま

す。その真の理由は、輝の会の磁界エネルギー治療なのです。

単に胃を摘出するだけでは、がんの原因である業念が残るため、がんの再発や他の疾患等につながる可能性が高いのです。ですから、これほど早期の仕事復帰は困難だったはず

です。宮迫さんは手術後に、顔の表情が明るくなったようです。

これは業念が消去されたためです。

磁界エネルギー治療には、このように様々なメリットがあるのです。

磁界エネルギー治療を行うと、がんの症状は消え、寿命は大幅に延びま

す。大勢の方にご利用頂き、真の健康を取り戻して頂きたいと考えております。

第13章 磁界エネルギー治療（無料サービス）お申込方法

磁界エネルギー治療の無料サービスを開始しました。

治療後の状態（業念蓄積量など）も無料でお知らせします。
ぜひ無料サービスをご利用頂き、効果を実感して頂きたいと思いをします。

1. お申込金額 無料
2. 提供する徳の量
最大で**1億**（人・年）の徳を提供します。
ぜひ磁界エネルギー治療の効果を実感頂きたいと思いをします。
3. お申込可能回数
お1人様につき、1回のみお申込可能です。
4. その他
ホームページを参照願います。

第14章 磁界エネルギー治療お申込方法

1. お申込金額 **5万円**（税込）
お申込金額は一律で5万円となります。
2. 提供する徳の量
最大で**100兆**（人・年）の徳を提供します。
3. お申込可能回数
何回でもお申込可能です。
4. その他
ホームページを参照願います。
<http://taki-zawa.net/cure/cure-6.html>

第15章 積徳量を見る方法を変更

今まで、眉間（アジナ・チャクラ）に蓄積されている徳の量を積徳量として報告してきました。

霊位・積徳量速報や積徳量分布図における徳の量は、全て眉間に蓄積されている徳の量でした。

しかし、頭頂部（サハスラーラ・チャクラ）に蓄積される徳の量を正確に把握できると、これが眉間の徳よりも正確な徳の蓄積量であることが分かります。

徳は、上部チャクラから下部のチャクラに向かって流れます。

ですから、頭頂部の徳の方が眉間の徳よりも量が多いのです。

眉間の徳は、頭頂部の徳の一部が流出したものと考えることができます。

以上の理由から、今後は積徳量を「頭頂部及び眉間に蓄積された徳の量」とします。

このように積徳量の定義を変更すると、積徳量は従来よりも大幅に増えることになります。

また、頭頂部（サハスラーラ・チャクラ）に蓄積される徳の量を正確に把握できるようになると、把握できる業念の量も大幅に増えます。

徳を把握する能力が上がると、業念を把握する能力も高くなるのです。

輝の会について

輝の会では、主に以下の活動を行っています。

1. 「人類救済の基本原理」「霊位上昇速度を最大にする方法」による人類全体の積徳・霊位向上の実現。

「人類救済の基本原理」は以下の内容になります。

- ・人類の浄化（歪んだ想念の消去）による徳光により自分以外の人々（含、先祖）の霊位上昇を行うと、霊位が指数関数的に急上昇するという法則。

「霊位上昇速度を最大にする方法」は以下の内容になります。

- ・全ての人々（全世界の人、祖先を含む）に対して、平等に霊位上昇を行う。
- ・全ての人々（全世界の人）に対して、平等に積徳を行う。

以上の法則を活用して、人類全体の積徳、霊位向上を最高の速度で行い続けています。これはそのまま会員自身の積徳、霊位向上を最高速度で実現することになるのです。

2. 磁気単極子エネルギー（徳、人の活動エネルギー）生成理論構築

5次元理論により、磁気単極子エネルギー（徳、人の活動エネルギー）生成方法を理論的に解明。その結果、磁気単極子エネルギー発生装置開発に成功しました、この原理により、磁気単極子エネルギー（徳）の大量生成・提供が可能になりました。1と合わせて、人類の積徳・霊位向上の速度が飛躍的に向上しています。

3. 金運サービス

金運は、お金もしくは同等の価値を受領できる運気のことです。

金運は創造神が管理しているため、必ず実現します。

輝の会では磁気単極子エネルギーを使うことにより金運を生成する方法を発見しました。金運サービスは、お申込者に金運を提供するサービスです。

4. 長寿サービス

輝の会では、寿命を司る生命エネルギーを発見しました。

生命エネルギーは創造神界（指導神霊を指導する神霊の世界）の神霊が、生命維持を目的として人類に提供しているエネルギーのことです。

輝の神（輝の会本尊）は創造神界に到達しているため、生命エネルギーを提供することができます。その結果、寿命を大幅に延ばすことが可能です。輝の会会員を対象に、長寿サービスを無償で提供しています。

5. 磁界エネルギー治療（がん治療・統合失調症治療・その他難病治療）受付中

本書の内容。磁界エネルギーを利用することにより、がん・統合失調症やその他の難病治療を行っています。

6. 才能強化

全ての人の才能は創造神（指導神霊を指導する神霊の世界）から提供されています。
輝の神（輝の会本尊）は創造神なので、才能を提供することができます。
才能強化をお申込頂いた方にはお申込頂いた才能を提供しています。

7. ご祈願のお申込受付

ご祈願を受け付けています。
お申込種類：学力向上、合格成就、就職成就、良縁成就、恋愛成就、人気獲得、
魅力獲得、勝利運、交通安全、旅行安全、夫婦円満、家内安全、事業繁栄、
企業繁栄、国家繁栄、御礼、その他

8. 積徳による開運のお申込受付

磁界エネルギー（徳）による開運を行っています。
2 などにより生成する徳を希望者お分けします。その結果、積徳量が増えます。
積徳量が増えると夢や希望を実現する能力が高くなります。これが開運を意味します。

9. 積徳による先祖供養のお申込受付

徳（磁界エネルギー）を先祖にお分けすると、先祖の霊位（先祖の活動する世界）が大幅に向上します。
希望者の先祖供養をこの方法で行います。
1 で毎日先祖供養を行っているのので、短時間で大幅な霊位向上を実現できるのです。
積徳量0の先祖の霊位を天界入りさせることが可能です。（天界は指導神霊の世界）

10. 台風消去サービス

輝の会では、台風消去サービスを提供しています。
台風消去サービスの概略は以下の通りとなります。
a. 台風消去サービスをお申込頂いた方に徳（磁気単極子エネルギー）を提供します。
b. この徳の用途は台風消去に限定されます。
c. お申込以降に発生した台風、もしくは発生中の台風に対し、この徳を用いて台風消去を実施します。
お申込者の徳による台風消去は滝沢（輝の会会長）が行います。
d. 風消去サービスにお申込頂いた方には、「台風消去を行った」という実績が記録されます。台風消去は莫大な積徳行為となるのです。

11. 宗教、科学、経済の融合理論の研究、発表。

宗教、科学、経済は本来一体の理論です。一体化できていないのは各理論の完成度が不十分なためです。この完成度を高め、一体化を実現することにより、人類の真理に対する理解度は大幅に向上します。人類の行動様式は調和し、飛躍的な発展を遂げることが可能になるのです。

1の活動が11の活動の原動力になります。新理論を発見すると莫大な徳を消費します。この徳を1の活動で生出しているのです。積徳を行うと、活動量が増えます。学術的な新発見を行いやすくなるのです。

輝の会に入会し、人類浄化による積徳、霊位上昇を行うと、短時間で莫大な積徳を行うことが可能です。また、短期間で大幅な霊位上昇を実現できます。

積徳により、豊かな日常生活を送ることが可能になります。また、霊位は永遠の財産です。肉体消滅後も天界で幸せな生活を送ることができるのです。

(輝の会の導きにより、既に2168億人の先祖が天界入りを実現しています)

(2014.3.30時点)

この機会にぜひ輝の会へのご入会をご検討頂けないでしょうか。

輝の会へのご入会、各種お申込をお待ちしております。

ホームページでお申込を受け付けています。

<http://taki-zawa.net> (「輝の会」で検索して下さい)

輝の会教義はホームページ上で公開中です。

ぜひご一読頂きたいと思います。

滝沢 輝 (たきざわあきら) の経歴・活動実績

- 1985年 宗教家としての活動を開始。
- 1989年 東京大学工学部卒業、三井銀行（現三井住友銀行） 入行
- 1994年度 「これから情報通信革命が起こる。パソコンが銀行になる。システムを戦略部門にすべきである。」 と（さくら）銀行に提言。この後、さくら銀行は日本初のインターネット専門銀行（ジャパンネット銀行）を設立する等、IT戦略で銀行業界のトップを独走。この動きが各産業界へのIT導入や日本のIT戦略へつながった。
上記提言が日本のIT戦略の原動力になったのである
- 1995年6月 総合企画部配属。ALM担当。
- 1999年7月 霊位が釈迦、イエスを超える。
- 2000年6月 5次元等研究のため、退社。
- 2000年12月31日 ピラミッド形（万物の創造原理、かつ磁界エネルギー（人の活動エネルギー）生成装置を天より授かる。
イエスの再臨である。
- 2001年9月 「釈迦を超えた日」を出版。5次元を提唱。
- 2003年2月 「5次元理論」を出版。世界がフラクタル構造（点に空間が内包されている構造）であることを理論的に解説。5次元導入による物理学の全面的な改定作業の必要性を提言。本書の出版が人工知能の大幅なレベルアップにつながった。ディープラーニングは本書が提言したフラクタル構造の応用である。
- 2003年6月 「マイナス金利の導入」を著述。
世界で最初にマイナス金利の導入を提言したのは本書である。
本書が世界のマイナス金利の原点である。
その結果、2014年にヨーロッパでマイナス金利が導入された。
また、日銀は2016年にマイナス金利を採用した。
本書では日本経済再生のため、経済の新理論を発表。名目経済成長率と金利水準が一致すべきであることを理論的に解説。1990年代以降の不景気の原因が、高すぎた金利水準であることを同時に証明。金利水準と名目経済成長率の関係を逆転させることにより景気・財政の回復を図るべきだと主張。
本書を政府・日銀等に送付後、金利を下げるべきとの認識が国内に広まり、景気回復・失業率低下の原動力となる。
アベノミクスの骨子である低金利高経済成長率政策は、「マイナス金利の導入」の無断コピーである。
- 2004年1月 フラクタル構造に電磁波を蓄える性質があることが確認される（朝日新聞の1面に掲載）。
「5次元理論」の内容の一部が学術的に確認されたことになる。
- 2005年 「5次元理論」の続編の執筆を開始。基本構造について、日本物理学界等へ送付。

2005年	天界入りを果たす。(天界は守護神霊(各種宗教の本尊クラス)の世界)
2006年11月	「5次元理論 ～その2」を著述。日本物理学会等へ送付。
2007年	「貨幣へのオプション概念の導入」「外国為替理論の再構築」を著述。各方面へ送付。
2008年6月	人類救済のため、「輝の会」設立。「人類救済の基本原則」を発表。
2009年8月	「フラクタル経済理論」を著述。バブル発生理由の理論的解明に成功。
2009年10月	「5次元理論 第3巻 認識の原理」を著述。5次元のアウトラインを解説。
2011年10月	「5次元理論 第4巻 宇宙の創造原理」を発表。
2011年11月	創造神界入りを果たす。
2011年12月	「長寿サービス」をスタート。人類の長寿化開始。キリスト教の千年王国の実現である。
2011年12月	「磁界エネルギー(オーラ)発生装置」を発表。磁界エネルギー(オーラ)を機械的に生成することに成功。
2012年2月	「5次元理論 第4巻 宇宙の創造原理」を日本物理学界へ送付。
2012年7月	野田首相に「原子力発電全廃は必須」というタイトルの提言を実施。その結果、2012年9月14日に「2030年代に原発稼働ゼロ」を目指す新しいエネルギー政策「革新的エネルギー・環境戦略」が政府から発表された。 本提言が、日本の原子力政策を正しい方向に導いたのである。
2012年11月	「フラクタル経済理論 第2巻」を発表。貨幣制度廃止の必要性を解説。その実現のために貨幣保有期間上限設定政策を提言。
2012年12月	全世界の人々に 就業可能日数 の提供を開始。 その結果、失業率が大きく改善した。
2013年7月	台風消去サービス提供開始。
2013年11月	金運サービス提供開始。金運生成方法等を公開。
2014年2月	生まれ変わり に関する解説文記載開始。
2014年3月	ご祈願 提供開始。
2014年9月	先祖金運サービス提供開始。
2014年10月	エボラ出血熱消去に成功。3868人の命を救済した。
現在	輝の会会長

2012年11月1日 磁界エネルギー治療 初版発行

2015年5月28日 磁界エネルギー治療 第14版発行

ホームページ <http://taki-zawa.net> (「輝の会」で検索して下さい)

Copyright ©Akira Takizawa all rights reserved.